

宮 整 友 報

CONTENTS

会長挨拶	1
2011.3.11東日本大震災 救護活動 報告と御礼	2
東日本大震災県外医療救護ボランティア活動報告	22
平成23年度 第1回通常総会	40
文部科学大臣杯争奪 第20回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会	44
会員近況	46
新入会員紹介	50
訃 報	52
「今」津津	53
風見鶏	54
宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員	55
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定	67
編集後記	70

覚 醒

宮城県柔道整復師会 会長

豊嶋良一

季夏の候、会員皆様にかかれましては益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

さて私事ですが、先般の第一回通常総会役員改選に於きまして会長に再選承りましたこと心より御礼申し上げます。

三月十一日以降全ての営みが（東日本大震災）という言葉で始まり、筆舌に尽くせないあまりに甚大な大災害。被災の規模は悲劇の連鎖で、政治経済にまで至っているのは周知の事実です。緩慢な



行政の動きは顕著に浸透しつつあり、景気にも影響してきております。冷静に考えて見ますとこれまで地球全てに於いて生命あるものは何らかの試練を受け、その度ごと試練を乗り越え今ここに存在しているものと思います。執行部としてもここ数ヶ月、あまりにも諸行事が通常の範囲を超えており、地に足がつかない状態ではありましたが、この未曾有の被災の後遺症をできるだけ回避すること、そして治療室での通常業務が、支障なく運営されることを最優先に考えております。ゆえに本年の対外活動の見直し自粛。責務につきましては、避難所でのボランティア活動（SVM）等で補っているところ です。

この被災以前より民主党政権による事業仕分け。多部位の適正化で四部位目が包括され、三部位目についても三十%の減額となり、大幅な収入減。また付帯事項として三部位目全ての負傷原因記載、領収書の発行の義務化、同意医師、同意日、申請書記載、通院日数の記載義務等等など多くの制約が課せられ、更には保険者及び外部委託による内容調査は、国家資格者である柔道整復師の社会的信用問題にまで及んできています。

私はこの度、いみじくも日整の保険部担当理事に推薦されており、六月下旬初

この度、東日本大震災におきまして、被災されましたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

また、犠牲となられました皆様に、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。

社団法人 宮城県柔道整復師会

めて厚生労働省に出向き担当者とお話をしました。思うところは沢山ありましたが、これから一歩一歩詰めていきたいと思えます。そしてこれまで通り、又はそれ以上の生活権、既得権を守り、より社会的信頼を増し安心できる業務・業界を構築することが第一と考えます。

執行部一同これからも常に危機意識を持ち強固結束し頑張っていく所存です。何卒これまで以上のご教示の程宜しくお願い致します。

2011.3.11 東日本大震災

【報告と御礼】

この度の一〇〇〇年に一度と言われています未曾有の、三・一一東日本大震災によって、当県のみならず、被災県並びに会員ご身内、恩顧、友人、知人の被災者に衷心からお見舞い申し上げます。

■被災 会員被災状況は、会員ご身内、恩顧、友人、知人の計報と共に行方不明のご報告を頂いております。また、沿岸地域を中心に多数の会員の家屋や施術所は壊滅し、報道等にてご承知の通り三万人にも上る数知れない死亡及び行方不明となった犠牲者に、只々心痛めている現状があります。

また、沿岸地域の瓦礫と化した壊滅状態の被災はもとより、直接津波の影響を受けなかった地域におきましても、地震による地割れや地盤沈下、そして家屋、社屋、テナントの損壊や破損、さらには自粛ムードによる経済の低迷と共に福島

県第一原発事故による混乱等々、幾重にも絡まった被災によって、来院患者の激減など二次、三次被害に全会員先行き予測が立たない現実、心休む事の無い厳しい日々が続いています。

■先ずは活動できる会員から・活動できる地域に接骨院ボランティア宮城(以下、SVM)医療救護活動 全ての会員が被災者と言う、前代未聞の状況下で、平成八年に設立し幾多の大災害現場で培ってきた、SVM医療救護活動組織は全ての機能を失ってしまいました。しかしこれまでの活動成果を基に地域に根ざしたネットワークとして組織された、県内全二十四警察署並びに三市一町と協定している、全会員施術所のSVM「子供とお年寄りの避難所」設定機能システムによって、ライフライン全てを失った震災直後から、施術室に駆け込んでこられた

方々や、近隣の避難所に対するSVM医療救護活動はもとより、施術室への一時避難の提供、貯留タンクのあるトイレや、プロパンガスを使用している会員宅の風呂、井戸水の提供等、先ずは活動できる環境下にある会員及び地域からSVM医療救護活動を積極的に展開することができました。

■(社)宮城県柔道整復師会「災害ボランティア対策本部」 第一次医療救護において、被害甚大な地域避難所には、日赤、国立病院、オープン病院、市町村公立病院・診療所、海外からの派遣診療所、全国からの医師並びに看護師、保健師等のパラメディカルの活動とは別に、本来のSVM機能の回復に伴い負傷に対する救護はもとより、長期化する避難所生活からくる、エコノミー症候群予防や、廃用性症候群予防ならびに劣悪な環境下からくる肉体的、精神的過労に対して、医療救護ボランティア活動を本格化することを目的に、赤十字社宮城県支部並びに宮城県市町村災害ボランティアセンター、被災現場対策本部との連携のもと、日整を窓口とした医療救護ボランティア派遣受け入れのコーディネーターとして、(社)宮城県柔道整復師会「災害ボランティア対策本部」を立ち上げさせて頂き

ました。

■全国公益・社団への医療救護ボランティア派遣の依頼 かねてより他県からの医療救護ボランティア活動の派遣申し込みを頂いていました全ての受け入れ窓口を日整とし、日整を核とした協力連携のもと、現地避難所における円滑なる派遣活動拠点環境整備を精力的にコーディネートさせて頂きました。

■敬意と感謝 (公)大阪府、(社)佐賀県、(社)愛知県、(社)神奈川県、(社)兵庫県、(社)福岡県、(社)宮崎県、(社)熊本県、(社)石川県、(社)福岡県柔道整復師会様からの派遣を初め、日整窓口とは別途、全国各地から飛び込んで来られた大勢の柔道整復師医療救護ボランティアの皆様にも、大いなる活躍を頂きました。

現地災害対策本部や被災者様より大変なる感謝を賜っております。派遣頂きました、同志公益・社団並びに活動頂きました皆様にも心からの敬意と感謝を申し上げます。

■(社)宮城県柔道整復師会災害ボランティア対策本部の解散及び全国からの公益・社団医療救護ボランティア派遣受け入れ終了 三・一一の大震災より四カ月を過ぎた現在にあって、被災されたおおよその会員が歯を食いしばり被災地

にとどまり、悲しみや苦しみを乗り越え、強い意志をもってようやく希望の光であります再開業に漕ぎ着ける事が出来ました。まさにゼロからの再出発に万感の思いを抱かれながら一生懸命頑張っている現実があります。

避難所におきましても、就業先を失った被災者のための雇用対策とした、瓦礫等の後片付けの就業に出かけられ、昼間はほとんどの方は居ない状態となりました。さらには、終業後避難所に帰ってこられた方々に対し、再開業された被災地の会員によって治療室終業後、SVM会員としての活動が続けられています。

また、週末・日・祝祭日に関しまして、被災地の開業会員の弊害とならないことを絶対条件に、本来のSVM機能による活動が鋭意展開されるに至っているとろです。

以上のこと等に鑑みまして、五月三十一日付けをもちまして、当会「災害ボランティア対策本部」の解散と全国の公益・社団からの「医療救護ボランティア」派遣受け入れを終了とさせていただきますことを、派遣依頼窓口となっていたいただきました日整より、全県公益・社団にご連絡のお願いをさせていただいた次第です。

■御礼 今日の日災被災会員復旧兆しの現実を迎え、このようなご報告が出来るようになりましたのも、ひとえに関係諸機関、関係諸氏並びに日整を核とした全国の公益・社団同志からの御心温まる沢山のお見舞並びに支援金や義援金のご厚情と共に、多くの他県からの医療救護ボランティアの派遣と活動に、大いなる復旧、復興への勇気を頂戴しました賜物と心に深く留めおきまして、執行部並びに会員一同、改めて心からの感謝と御礼を申し上げます。

■最後に 関係諸機関、関係諸氏並びに日整、公益・社団及び派遣頂きました社団同志の活躍状況(この度の広報誌では紙面上の関係から、一部抜粋のみのご紹介とさせて頂いております事をご容赦ください)等を震災終息状況に照らし合わせまして、冊子等の発行をもってご報告させて頂いたたく所存でございます。

当会は、皆様のご厚情に報いるべく会員並びに郷土宮城の復旧と復興に全力を尽くす覚悟でございます。何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

文責 副会長 中川利光

県内ボランティア活動一覧

	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
1	3/11～3/16		栗原	佐々木聡
2	3/11		常盤木学園高等学校 東六番丁小学校	中川利光 中川裕章
3	3/12～3/13		塩釜市藤倉集会所(コミュニティセンター) 塩釜市立第二中学校 塩釜市立杉の入小学校体育館	林 伸也
4	3/14～3/16		塩釜ガス体育館	柴田仁市郎 佐々木耕一朗 山崎義太郎、笹原大裕 佐々木郁
5	3/14～3/18		角田市総合保健福祉センター	目黒喜浩
6	3/19	状況確認 情報収集	気仙沼市～石巻市 沿岸部	A. 豊嶋良一 大坂武史 稲葉泰三 B. 松元浩二 越後勇人 椎名亮文 川村卓也 C. 藤本淳也 齊藤拓幸 佐々木俊夫 佐藤昭彦
7	3/20	状況確認 情報収集	東松島市～亙理 沿岸部	豊嶋良一、松元浩二 大坂武史
8	3/12～3/25		村田町内避難所6ヶ所	大宮 茂、大宮正照
9	3/14～3/25		七ヶ浜・国際村	渡辺利康
10	3/14～3/31		台原体育館 他11箇所	神山(大坂接骨院)
11	3/16		仙台市立大和小学校	佐藤晃敏
12	3/16～3/22		中野中学校避難所	尾形 謙
13	3/16 3/17 3/18 3/22 3/23 3/25 3/27		松ヶ浜小学校、亦楽小学校、七ヶ浜中学校 同上 亦楽小学校 亦楽小学校、七ヶ浜町中央公民館 同上 同上 同上	平田健作 他スタッフ2名 平田健作 他スタッフ3名 平田健作 平田健作 他スタッフ1名 平田健作 平田健作 平田健作
14	3/16～3/20 3/27 4/10 4/17 4/24		白石市内避難所7ヶ所(約120名) 白石市勤労者体育センター 同上 白石市内原発関連指定避難所 同上	川井貞文 他スタッフ2名 川井貞文 他スタッフ 同上 同上 同上
15	3/20		岩沼市総合体育館 (岩沼ビッグアリーナ)	山田大樹 (わたり接骨院)
16	3/21～毎日	名取市災害対策本部	別紙参照	目時 他

--	--

	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
17	3/22		東六番丁小学校 榴岡小学校、遠見塚小学校 J A農協避難所 六郷小学校体育館	中川利光 中川裕章 他スタッフ1名
18	3/24		福田地域包括センター内避難所 岡田小学校避難所 高砂中学校避難所 南光台中学校避難所	中川利光 中川裕章 他スタッフ1名
19	3/25		南光台中学校避難所	中川利光 中川裕章
20	3/24	亘理 ボランティアセンター	亘理小学校、亘理高校、 吉田中学校、逢隈小学校	大宮 茂、岩佐和之 櫻本和夫、山田大樹
21	3/27		山元町避難所、亘理町避難所	岩佐悠一、高橋悠一 藤岡智之
22	3/23 ~ 3/31		大崎市総合体育館内避難所	櫻田 裕 菊地慎治 他スタッフ
23	3/30		気仙沼市総合体育館	中川久秀、中川利光 郡山敬信
24	3/31	名取市災害 ボランティアセンター	名取市立高館小学校	太田作郎 目時 誠
25	4/1 ~ 4/27		戦災復興記念館 七北田公園体育館	神山(大坂接骨院)
26	4/3	山元・亘理 ボランティアセンター	吉田小学校、山元町役場	岩佐和之、古川正幸 高橋悠一、藤岡智之 山田大樹
27	3/17 ~ 3/25 3/28		かなえ接骨院 気仙沼旧第3庁舎倉庫 ワン・テンビル、気仙沼小学校	高橋清人

(23.4.4 災害救援ボランティア対策本部立上げ)

	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
1	H23 4/5		村田町役場	大宮 茂
2	4/6	柴田町・大河原町・ 角田市・丸森町 社会福祉協議会		岩佐和之、古川正幸 大友啓太郎
3	4/7		白石市役所、七ヶ宿役場、蔵王役場	大宮 茂
4	4/7	名取市災害 ボランティアセンター	名取市立高館小学校	太田作郎
5	4/10	利府松島商工会 青年部	松島温水プール美遊 手樽地域交流センター 品井沼農村環境改善センター	庄子和良 中津川義広、千葉奈緒 美(スタッフ) 斎藤裕、工藤(準会員) 大山徹也、日出山進 清野陽子

--	--

	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
6	4/10	山元町 ボランティアセンター	山元町役場	岩佐和之、高橋喜則 大友啓太郎
7	4/10 4/17		名取文化会館 宮城野体育館	弓田龍輔、新見哲也 齊藤泰士、塩田幸生 高山 潤、高橋孝男 得平妹子、黒澤千亜季 吉田未佳、石川清香 大森 要、弓田龍輔 加茂和樹
	4/24		宮城野体育館	
	5/1		宮城野体育館	
8	4/10 4/17		南三陸町	今 貴臣
9	4/13		川崎町役場	大宮茂
10	4/5、4/7、 4/13		気仙沼中学校	高橋清人
11	4/14	名取市災害 ボランティアセンター	名取市立高館小学校	太田作郎
12	4/16		女川町総合体育館 女川町勤労青少年センター	坂井雄大 佐々木俊夫
13	4/17		浦戸諸島(桂島、野々島)	亀井 啓
14	4/17		六郷中学校体育館 六郷中学校武道館 六郷市民センター	佐藤勝一、魚崎宇宙 寺崎桂樹、阿部正宏 他
15	4/17		宮城野体育館	齊藤泰士 他4名
16	4/20	松島町手樽 地域交流センター	松島町手樽地域交流センター	林伸也 清野陽子
17	4/23	名取市災害 ボランティアセンター	名取市立高館小学校 体育館	太田作郎
18	4/24		気仙沼大島総合開発センター	豊嶋良一、中川利光 大坂武史、斎藤 裕 大山徹也、中川裕章 大瀧佳子、工藤 互
19	4/29	塩釜、松島	品井沼農村環境改善センター	林 伸也、清野陽子
20	4/29	南三陸	南三陸ベイサイドアリーナ	藤本淳也、中島正彦 佐々木智徳
21	4/29	南三陸町	歌津避難所	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志13名
22	4/29	塩釜市	公民館、グリーン接骨院	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志13名
23	4/30	塩釜市	公民館、寒風沢避難所 グリーン接骨院	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志11名
24	4/30	南三陸町	歌津避難所	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志11名



	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
25	4/30	南三陸	南三陸ベイサイドアリーナ	中島正彦、佐々木智徳 高橋 健
26	4/30	名取市災害 ボランティアセンター	名取市立高館小学校体育館	太田作郎
27	5/1	塩釜市	グリーン接骨院	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志9名
28	5/1	七ヶ浜町	公民館	芦澤卓也、スタッフ4名 私の勉強会有志9名
29	5/1	南三陸	南三陸ベイサイドアリーナ	藤本淳也、佐々木智徳 中島正彦
30	5/1		名取市文化会館	金澤光彦
31	5/1		名取市文化会館	佐藤政貴
32	5/1		渡波公民館	木川幸一、富樫優子
33	5/1	石巻	渡波公民館、釜小学校 蛇田小中学校、門脇中学校	齊藤拓幸、佐々木俊夫
34	5/1		歌津町	大坂武史
35	5/2		気仙沼階上中学校	大坂武史
36	5/3～5/5	東松島市	小野市民センター避難所	小林 巖
37	5/4		南三陸町志津川 藤浜避難所	佐々木聡
38	5/3、5/8	石巻		佐藤 隆
39	5/7	名取	名取市立高館小学校体育館	太田作郎
40	5/8	名取	名取市文化会館	金澤光彦
41	5/8	名取	名取市文化会館	佐藤政貴
42	5/8	石巻	石巻市蛇田小学校 石巻市立門脇中学校	佐藤 隆、佐藤晃敏 郡山正義、田中俊一 真山貴恵、新見哲也
43	5/10	気仙沼市階上中学校 避難所災害対策本部	気仙沼階上中学校	大坂武史
44	5/13		気仙沼大谷	大坂武史
45	5/14		名取市立高館小学校体育館	太田作郎
46	5/14～5/15	石巻	女川町総合体育館 仙翁寺、階上小学校	佐々木俊夫
47	5/15	名取	名取市文化会館	金澤光彦
48	5/15	名取	名取市文化会館	佐藤政貴
49	5/15		赤井市民センター、大曲地区センター 矢本西市民センター	林 伸也、清野陽子
50	5/15		石巻市立蛇田小学校 石巻市立門脇中学校	郡山正義、椎名亮文 齊藤泰士 他6名

--	--

	日時	依頼団体名	活動場所	活動者
51	5/15		坂元中学校、中央公民館 山下第一小学校・坂元支所	佐藤勝一 他スタッフ7名 福井正文 他スタッフ2名 阿部正宏 他スタッフ2名 鈴木信人 櫻本和夫 他スタッフ2名 尾曾茂人 若松 勲 他スタッフ1名 鈴木盛登 佐藤浩一 関村幸太郎他スタッフ1名 寺崎桂樹 他スタッフ3名 大友啓太郎他スタッフ2名 宮崎匡喜 他スタッフ2名 金井田卓也 魚崎宇宙 他スタッフ1名 笠原弘可 他スタッフ1名 (日本プロジェクト高橋 卓)
52	5/21		若柳ウェットランド交流館 (南三陸町避難所)	佐々木聡、関村幸太郎
53	5/21		金成延年閣(南三陸町避難所)	小山高弘、西島眞幸 熊谷克浩
54	5/21		名取市立高館小学校体育館	太田作郎
55	5/23		気仙沼唐桑町	大坂武史
56	5/28		名取市立高館小学校体育館	太田作郎
57	6/5	亶理町体育協会	亶理町逢隈小学校体育館	笹森雅元
58	6/5	亶理町体育協会	亶理高校	大宮 茂、大宮正照
59	6/5	亶理町体育協会	亶理中学校体育館	今 貴臣、柳館利香
60	6/5	亶理町体育協会	亶理小学校	山田大樹、菅野隆弥
61	6/12	亶理町体育協会	亶理小学校	櫻本和夫
62	6/12	亶理町体育協会	亶理高校	大宮 茂、大宮正照
63	6/19	亶理町体育協会	亶理中学校	池田昭平、佐藤浩一
64	6/26	亶理町体育協会	亶理中学校	齊藤泰士、大谷徳博 新見哲也、加茂和樹 石川清香、吉田未佳
65	6/19		山下中避難所	富樫優子
66	6/26		NPO法人オンザロード	富樫優子
67		万石浦中学校避難所		木川幸一

※阿部義浩会員

※23.4.17(日) 浦戸諸島(桂島、野々島) [亀井]:連絡船運行が少ない為、桂島で知人に湿布を渡し、自分は野々島へ向かい治療

※岩崎千治会員 - 若林体育館へ座布団260組寄付

東松島の被災者サポート

宮城・松島商工会青年部

町内の避難所で相談会

宮城県松島町商工会青年部は10日、温水プール美遊など町内にある4カ所の避難所で、部員の弁護士らによる相談会を開いた。

町内で避難生活を送る約270人のうち164人は隣接する東松島市の被災者で、家が全壊したり流失したりした人が多い。相談会では、弁護士や行政書士、ケアマネジャーらが被災者の悩みに



耳を傾けた。倒壊家屋の取り壊しの手続きや家族を失った中での相続の仕方、公的支援に関する質問などが寄せられた。

町商工会青年部の杉原崇部長(38)は「松島は沿岸部では比較的被害が少なかった。動けるわれわれができることを探して、被災者をサポートしていきたい」と話した。相談会と併せて、宮城

弁護士らが避難所を回り、相談に耳を傾けた。10日、宮城県松島町の温水プール美遊

県柔道整復師会の協力で避難者へのマッサージも行った。品井沼農村環境改善センターでマッサージを受けた女性(58)は「避難所の床は硬く、なかなか眠れなかった。マッサージで体がほぐれた」と喜んだ。

仙台市若林区六郷地域避難所



宮城県山元町避難所



仙台市宮城野区中野中学校避難所





常盤木学園高等学校
東六番丁小学校

榴岡小学校



JA 農協避難所



遠見塚小学校



岡田小学校避難所



六郷小学校体育館



高砂中学校避難所



「少年柔道大会」……………44頁
 「会員近況」……………46頁
 会員各位の元気な姿を紹介しています。皆様の趣味や御家族、治療室、スタッフなどを含めた、写真やメールでもかまいません。是非事務局まで送って下さい。
 広報部

山元町・亶理町避難所







御礼状

拝啓 新緑の若葉が薫る季節を迎え、ますますご清祥のことと存じ上げます。

この度は、東日本大震災で被災した本市に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。

この未曾有の大震災により、本市でも誠に残念ながら多くの市民の尊い命が失われるとともに、住宅や店舗、道路、漁港・港湾施設等にも甚大な被害を受けました。震災直後には、すべてのライフラインが途絶し、強い余震が頻発する中で、多くの方が不自由な避難生活を余儀なくされ、先行きに不安を抱える状況でありました。

そのような中、皆様から届けられたあたたかいご支援は、私をはじめ市民一同、大変勇気づけられるものでございました。心から感謝を申し上げます。

現在は、瓦礫の撤去等も進み、市内各所では復興に向けた取り組みも徐々にではありますが始まっております。

今後は、一日も早くこの震災から立ち直り、元気な塩竈を取り戻すため、市民と一体となり『百折不撓』の決意で全力で復興に取り組んでまいり所存でありますので、皆様のなお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

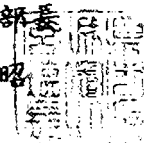
末尾になりましたが、皆様のますますのご清栄をご祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具

平成23年5月20日



塩竈市災害対策本部長
塩竈市長 佐藤 昭



お見舞文

宮城県 仙台市 青葉区 上杉 ニー九一八
社団法人 宮城県柔道整復師会
会長 豊嶋 良一 様

この度の東北地方太平洋沖地震の発生をニュースで知り、被害の大きさに大変驚いております。謹んでお見舞い申し上げます。貴会をはじめ会員の皆様方の被害が最小限でありますよう、そして一日も早い復興をお祈りいたします。

社団法人 石川県柔道整復師会
会長 木山 時雨

コード六九五四五六一〇七七〇

三月一日 〇八三一六〇四四

平成 23 年 6 月 吉日

社団法人宮城県柔道整復師会
会 長 豊 嶋 良 一 殿

社団法人香川県接骨師会
会 長 石 原 誠

前略 梅雨空のうっとうしい頃となり、被災地におかれましては大変な生活を余儀なくされていることと拝察致します。

テレビ、新聞等の報道を見ましても、災害の規模が大きく、まだまだ復旧作業の遅れが見られ、会長様はじめ会員の皆様におかれましても何かとご苦労が多いかと存じます。小会会員一同衷心よりご案じ申し上げます。

さて、当会では、【社団会員から社団会員への義援金】と言うことで、会員各位（186名・事務2名含む）からの災害見舞金が、5月末で190万円。それにこの主旨に賛同していただきました地元（香川県）のレセプトコンピューター会社・株式会社OAシステムシャープの森山社長様から10万円。合計200万円の見舞金が集まりました。当会といたしましては、5月末に日整本部に100万円を送金させていただきましたので、残り100万円を、宮城県・福島県・岩手県の3県に振り分けて送金させていただきますので、ご査収いただき、少しでも会員の皆様の支援になれば幸いに存じます。

一日も早く復興されますことを心よりお祈り申し上げます。

草々



平成 23 年 6 月 22 日

社団法人 宮城県柔道整復師会
会長 豊嶋 良一 様

(社) 群馬県接骨師会
会長 大藤 忠昭



震災お見舞いの追加支援について

謹啓

初夏の候、貴会におかれましては震災後の復興に向けてご努力されていると
ご拝察申し上げます。

平素より、格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

長引く災害の後処理でご苦勞されていることをご考慮いたしましてこのたび
一時見舞金に引き続きまして、一金壺拾萬円也を義援金としてお振込みさせて
いただきますのでお納め下さい。

弊会でお力になれる事がありましたら是非ともご連絡くださいますようお願い
申し上げます。

災害に遭遇されました貴会傘下会員の一日も早い通常のお仕事ができる状況
に戻られます事をご祈念申し上げます。

敬白



社団法人宮城県柔道整復師会

会長 豊嶋 良一様

東北太平洋沖震災に謹んでお見舞い申し上げます。

拝啓

今回の地震と津波による未曾有の災害に遭遇され貴会員の皆様の中にも被災された方が大勢おられることと拝察いたします。

会員の皆様方はお仕事のご自身の被災を省みず患者様はじめ地域の被災者のために日夜奔走されておられる事と存じます。

16年前関西在住の当協会会員も数多く被災しましたがそれぞれの地域において混乱の極みの中で可能な限りの医療応援を行いました、今その当時の緊迫した状況が浮かんでまいります。

宮城県の皆様が一日も早く復興され元の平穏な生活に戻られる事を節に願っております。

敬具

平成23年3月吉日

特定非営利活動法人 日本医師スポーツ協会

代表理事 小味渕 智雄

980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉2-9-3
社団法人宮城県柔道整復師会	
会長 豊嶋 良一 様	
〒108 0011 東京都港区赤坂1-25-33 長王ビル4階 社団法人柔道整復師会事務局 理事長 堀高 統	月 日 午前 午後 ()
TEL (03) 3290-1720	翌日以降の配達日指定もされた場合 のみ配達時間帯変更が可能です。
	日 月 年 時 分 秒

このたびの東北地方太平洋沖地震による
被害の報に接し、
会員様並びに被災者の皆様に
心からお見舞い申し上げます。

前略 御多忙中のところ、詳細な御会の現状報告をいただき有難うございます。
なくなられた関係者もおられるようで、誠に悲しいことです。
大変な状況の中、師会の最大努力を行ってきておられる様子がよくわかります。
今後とも対策本部を中心に継続的努力が必要と思われませんが、よろしく取り組みの程、希望します。

私自身のことに関して申し上げます(i) 2度の大津波警報のため、2度避難所暮らしをしましたが、今はほぼ問題ない生活です。(ii) 勤務先(帝京大、宇都宮キャンパス)の被害が甚大で、研究室内も危い位で、(理工学部の方では億単位の機器がダメだそうです)、通勤にも苦勞しますが、まあそのうち何とか……です。

事務局、理事各位の方々も大変でしょうが、頑張ってください。 草々

2011. 4. 29

学会名誉副会長 佐藤 捷

拝啓

豊嶋会長、宮城県柔道整復師会、会員皆様様におかれましては、益々ご清栄のことと、お喜び申し上げます。

この度の、東日本大震災で、小生も大きな被害を受けましたが、皆様の絶大なる、お力添えと、温かい励ましにより、6月20日ようやく仕事に復帰する運びとなりました。この度は、豊嶋会長を先頭に会員の先生方に気仙沼まで足をお運びを頂き、心温まる過分なるお見舞いを頂き恐縮しております。本当に有難うございました。気仙沼市や周辺の被災地は、被災より3か月になりますが、いまだ瓦礫や鉄屑、流され壊れた車の山となっており、遅々として復旧が遅れているのが現状ですが、市民は政治には、関係なく、個々が一生けん命頑張り、力強く前に向かって進んでいるおかげで、日常生活も徐々に回復に向かいつつあります。しかし、町の状況は、水産業、水産加工業、造船所、養殖漁業など、そして、漁船も7割以上が破壊され、町の状況は壊滅的な打撃をこうむっております。しかし、魚市場が地盤沈下の為浸水しましたが、一部ようやく復興し気仙沼の魚市場に鰹が水揚げされ、市場が利用できる見込みとなりましたが、いまだ全面復旧には程遠い現状です。町の経済状況を好転し、上に向けるには、今こそ政治の力が、必要な時だと思いますが、庶民には何も政治の心が届いていないのが、現実です。

皆様方には、この度は、御心配をおかけし、また心温まる、お見舞いを頂き重ねて、心よりお礼申し上げます。また、御深謝申し上げます。小生も元気で頑張っておりますので、ご安心ください。今後とも宜しくお願いします。簡略ながら御礼申し上げます。

敬具

平成23年6月吉日

988-0043

宮城県気仙沼市南郷11-21

気仙沼整骨院

新田 要

Tel&Fax 0226-24-0801

東日本大震災 救護活動報告

県外ボランティア活動報告

震災後全国各地の各県社団より、多大なご支援ご協力を賜り、誠に有り難う御座いました。活動地域も広範囲にわたり、長期間で幾度も活動を展開していただき、御苦労様でした。心から感謝申し上げます。

また救護活動に参加していただいた皆様より、被災地や避難所の様子、医療救護ボランティア派遣に至る経緯の概略なども含めて、活動報告として転載させて頂きます。なお大変勝手ながら、最初の頁だけを掲載し、以下の頁は割愛させていただきます。

尚、大震災救護ボランティア活動につきましましては、県内外を含め再度冊子などにより、詳細な報告を考慮しております。これからも被災地では、継続した活動が続けられると思いますが、これまでの活動状況報告、ならびに紹介をします。お疲れ様でした。

宮整広報部



県外ボランティア活動一覧

	依頼者	担当者	人数	日程		派遣先
1	佐賀県	隈本先生	4	4/16～4/19	隈本圭吾 平野弘道 永石知靖 小幡龍生(熊本県)	仙翁寺
2	大阪府	阪本会長	4	4/15～4/18	阪本武司 金田英貴 武市泰弘 武村 徹	女川総合体育館
3	愛知県	佐久間会長	3	4/18～4/21	木村雅克=一般会員 小川幸三=一般会員 前田正秀=一般会員 市川幹也=一般会員	小泉中学校
4	愛知県				藤原八壽夫	
5	神奈川県	吉田会長	3	4/17,4/23		亘理小学校
6	神奈川県	吉田会長	2	4/16,4/24		亘理中学校
7	神奈川県	吉田会長	3	4/17,4/23		亘理高等学校
8	神奈川県	吉田会長	2	4/16,4/24		吉田小学校
9	神奈川県	吉田会長	2	4/16,4/24		逢隈小学校
10	兵庫県	根来伸也会員	4	5/1～5/6	根来信也=理事学術部長 中嶋一嘉=一般会員 松本雅永=一般会員 藤本 進=一般会員	平成の森(歌津)
11	福井県	斎藤和利会員	3	5/2～5/5	斎藤和利=一般会員 東谷孝一=一般会員 中宮 肇=一般会員	階上中
12	宮崎県	奈須開生	3	5/10～5/12	奈須開生=副会長 白水 豪=一般会員 松内佳名子(福岡県)	名取体育館
13	佐賀県	隈本先生	3	5/14～5/15	隈本克也=一般会員 藤井勝則=一般会員 笠間一馬 (隈本共成=学生)	仙翁寺
14	大阪府		4	5/14～5/15	上田 毅 井上孝司 曲 良介 後藤健太郎	
15	熊本県	上杉博行	4	5/23～5/27	上杉博行=一般会員 今村光喜=一般会員 那須啓一=一般会員 松村章吾=一般会員	気仙沼・唐桑
16	石川県		21	5/23～5/27	21名	東松島市内
17	神奈川県	栗山 敬輔	2～6	5/14～5/15 5/21		亘理小学校 亘理中学校 亘理高校 逢隈小学校 吉田小学校
18	静岡県	大石ショウイチ	2	未定	大石昌一=前理事、現一般会員 中村規重=一般会員	RQ市民災害 救援センター
19	福井県	齊藤 和利		6/16～6/19		気仙沼階上中学校 公民館 等

活動報告 佐賀県

東日本大震災ボランティア活動報告書 1

社団法人 佐賀県柔道整復師会
救護ボランティア委員会所属
隈本圭吾

この度の地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に一刻も早い復興と被災地皆さんの健康を切にお祈り申し上げます。震災を受けて私たちも柔道整復師（以下、JT）として何か出来ないか仲間で相談してきた。以下は活動の報告である。

九州の JT による東日本大震災への災害復興支援について

東日本大震災発生より早 1 カ月が過ぎ緊急支援から復興支援の段階にある中で、仲間同士の中から我々 JT の仕事を通じて何かできないか意見が出てきた。阪神淡路大震災時のボランティアを経験した私のもとへ「もし行かれるのであれば、連れて行ってもらえないか？」とか、他業者も含め、「どうするんですか」とかの声が寄せられた。当初は何も九州から行かなくとも近隣の先生方が行くだらうと考え、募金活動や支援物資と思いささやかな活動を行いながら東日本を注視していたが仲間の 8 人が行く、行かないは別にして、行動に移すことを検討してみようかという事になり情報収集をおこなった。そのような中、最大被災地の社団法人宮城県柔道整復師会災害救護ボランティア対策本部からのボランティア活動依頼がなされた。福島原発の事も慎重に、慎重に意見をまとめ、我々の小さな善意を届ける事を決定した。

平成 23 年 4 月 1 日

隈本圭吾

【活動概要】

名称：九州 JT による東日本大震災への災害復興支援（通称、ますらお作戦）

期間：4 月 16 日（土）～19 日（火）4 日間 その前後が移動日

場所：宮城県気仙沼市本吉町 仙翁寺（避難所）

（社団法人宮城県柔道整復師会災害救護ボラ対策本部の指示で活動）

宮城県柔道整復師会 HP <http://mjs.or.jp/information/>

参加人員：隈本圭吾（責任者）、小幡龍生、楠本利巳、藤井勝則、隈本克也

平野弘道、梶原 剛、永石知靖、

移動方法：車両による第 1 次派遣（災害派遣等従事車両証明書持参）佐賀県有田町を出発、吉野ヶ里町に集合し 4 月 14 日 23:00 出発東脊振 IC～仙台港北 IC まで約 1700 キロ、約 18 時間を予定。

活動内容：活動拠点である社団法人宮城県柔道整復師会災害救護ボラ対策本部

（宮城県仙台市青葉区上杉 2-9-8 ☎022-262-9181）のボランティア受け入れ担当者大坂武史理事（☎090-9030-3761）からの指示で仙台市以北の避難所にて活動を行う。

外傷の治療や、被災者の精神的ケア、機能回復訓練、全身ストレッチ、ラジオ体操、ムンテラなどを行う。

※ 責任者を隈本圭吾（☎090-8836-3410）とし安全を最優先として活動する。

熊本県

東日本大震災におけるボランティア活動

(平成23年4月15日～20日)

熊本県・小幡龍生

この度、平成23年3月11日・午後2時46分に発生した東日本大震災に対し、宮城県柔道整復師会のボランティア活動依頼を受けた。我々は、隈本・平野・永石・小幡・4人で活動を開始した。今回の活動場所として気仙沼市本吉町・仙翁寺を拠点とし・清涼院・小泉中学校・大谷公民館の4ヶ所へは出張施術の形となった。機材・備品として、簡易ベッド2台・床敷きマット一式・電気治療器1台「6極」・シップ「宮城県柔道整復師会より頂く」・テーピング・包帯など

2011/4/14 (木)

隈本整骨院 午後10時集合・機材確認・午後11時頃、現地へ向け出発。
九州自動車道・関門橋・中国自動車道・「山口・広島・岡山・兵庫・大坂・京都・滋賀へ

2011/4/15(金)

AM7時滋賀県大津市のパーキングにて朝食。夕方に、仙台へ到着。6時 or 6:30分頃
宮城県柔道整復師会館にて、豊嶋会長・中川副会長・大坂事業部長と面談。
市内中心部では、大きな被害は、なかったようだ。仙台市内にて宿泊。

2011/4/16(土)

宮城県柔道整復師会館に午前7時集合
大阪の坂本会長の話・豊嶋会長の話があり現地へ出発。
宮城県大坂事業部長に先導され、13時、活動拠点の仙翁寺「せんのうじ」到着。お寺前広場
では、琴欧州はじめ佐渡ヶ岳親方・その他 部屋の面々が、避難所の方々に、ちゃんこ鍋を
振舞っていた。我々も御馳走になった。ゴツアンでした。

午後から、施術開始。最初、どのように対処すべきか迷ったが、日頃常、自院でやっているよ
うにやればよいということで施行した。但し、施術を行う上で、患者の、精神的なストレスなど
を考慮の上で行うことが重要。

主な目的として、「主訴の軽減・改善・ROMの改善などを目指し、運動指導などなど」

18時30分まで 計27名来院。

隈本・平野両名は、場所を変え

- ・大谷「おおや」公民館にて……………4名施術
- ・寺谷「てらがい」コミュニティセンターで6名施術。

合計 37名

2011年4月17日(日)

AM6時20分頃、自分達から積極的に自由参加の形で朝のラジオ体操が行われていた。

本堂での全体の責任者会議「ミーティング」に参加させて頂く。

「本日は被災から38日目です」という言葉が印象的であった。

各班の代表が集合し、その日の行事予定連絡を受けて・班長はそれを持ち帰り連絡。

佐賀県

東日本大震災 宮城県気仙沼市における活動報告

佐賀県柔道整復師会 救護ボランティア委員会
平野弘道

第1次派遣隊：隈本圭吾(隊長)、小幡龍生(副隊長:熊本県より参加)、平野弘道、永石知靖

(はじめに) この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げ、皆様の健康と一日も早い復興を心より強く強くお祈りいたしております。

3月初旬～3月10日

熊本市にて勉強会の仲間、木村氏の結婚式が来る3月20日に行われるのであるが(佐賀県より参加者8名)、その準備(宿泊、二次会、三次会・・・)に追われるも、何とか準備整い、参加者と観光などの次の日の予定なども日々話し合う。

3月11日

14:46東北地方を中心とした大規模な地震発生、その3分後大津波警報発令、その約1時間後各地方に津波来襲、TVの映像で見る限りこれまでに見たこともない甚大な災害であることだけは間違いないことである。現実とは把握しているのだが、映画を見ているような気がしてならなかった。

3月12日

治療室はその話題で持ちきりである。一日が経過し、TVなどの情報を通じ、えらいことが起きたという実感が強く沸いてきた。

3月13日

相変わらず治療室は津波と原電の破壊の話で持ちきりである。災害発生当初から数日が経過し避難所の様子などもTVで見かけるようになる。避難所というとすぐに県の防災訓練や隈本隊長たちが経験した阪神淡路大震災での活躍が頭に浮かぶ。

3月14日

みんなが、今回の災害のキーワードであろう『自分に出来ることを考え、探していく』という言葉をよく耳にしなが、自分自身も漠然とではあるが、被災地に出向き整骨業を通してのボランティアが出来ないかどうかを考え始める。そんな折、隈本隊長より、今回の熊本(木村氏結婚式)行くには行くが、宿泊・二次会はやめる。気持ちが東北に向いてしまっている。その分募金する。という旨のメールを受ける。

3月15日

形はどうであれ、被災地に行くことを心に決め、妻に「たぶん(被災地に)行くことになるから、そのときになって驚かないでくれ」という旨のことを伝える。

3月16日

結婚式参加予定者たちと今回は宿泊・二次会はやめて朝出発して日帰りで佐賀に帰ろうという結論に達し、宿泊のキャンセルを行う。(後に折角の木村氏の結婚式だから二次会まではやってから帰ろうという結論に達した)
その時のある仲間の言葉) 『帰宅が夜遅くなりますが、宿泊せずに帰るにしても、2次会までは行って帰るという形もある

佐賀県

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における

宮城県気仙沼市での救護ボランティアに参加して

(社)佐賀県柔道整復師会

(社)熊本県柔道整復師会

救護ボランティア委員会所属

小幡 龍生

隈本 圭吾 平野 弘道 永石 知靖(著)

<要旨>

今回、平成23年3月11日、午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに起因した津波による東日本大震災の被災地へ柔道整復師としての救護ボランティア活動を4日間行ってきた。これはその内容をまとめたものである。

<被災地までの道のり>

- ①平成23年3月15日付で、(社)日本柔道整復師会より東日本大震災における「ボランティア名簿」の作成についての趣旨・案内が各柔道整復師会会員に届く。ボランティア名簿に登録することで、救護ボランティア活動の足がかりを得ることとなる。(日付に関しては以後、月日に略する。)
- ②3月18日、隈本救護ボランティア委員会部長より派遣準備についての案件がメールにて参加表明の各会員へ届く。いつ何時、出動要請があっても対応できる様、準備しておくことの内容が記される。
- ③被災地の情報収集、資材の計画・準備、被災地までの経路など、担当を決め分担して開始する。この時、どこかの被災地から要請があるか否かは判っていないため、漠然とした想定により準備を開始することとなった。
- ④4月10日、宮城県柔道整復師会がボランティア受け入れ先となり、活動期間が4月16日から4月19日(4日間)と決定する。この時点では、被災地の活動拠点は不明であった。急ピッチで宮城県の被災状況、ライフラインの復旧状況等に絞り情報収集を開始する。
- ⑤4月11日、「災害派遣等従事車両証明」の申請書を有田町役場住民環境課に提出する。
- ⑥4月13日、長距離の移動に備えて車両の点検をトヨタカローラ佐賀伊万里店にて行なう。この際に店長と被災地への医療ボランティア活動に赴くことを談話すると、「私たちが被災地に赴いて出来ることはないが、間接的ではあるけれどこれも災害支援の形になるかな」と無償で点検をして頂いた。その後、有田町役場住民環境課にて「災害派遣等従事車両証明」を受け取る。その際、総務課にて総務課長と活動期間やどのようにして赴くか、また活動方法など談話する。この時、同町税務課長が行政運営職員として気仙沼市へ16日より一週間の期間で派遣されるとのことで、活動地も同じであったため「それではもしかしたら、現地であうかもしれませんね」とお互いに個人携行品などの準備状況などを談話し別れた。その後、偶然にも寝食を行い活動拠点となった気仙沼市の避難所仙翁寺にて、この税務課長と鳥栖市役所職員の2名と4日間を共に過ごすこととなる。
- ⑦4月14日20時半、有田町の自宅を集合場所である吉野ヶ里町 隈本整骨院に向けて出発。
(途中、武雄市にて平野先生と合流する)
- ⑧4月14日22時37分、隈本整骨院を出発。忘れ物発覚の為、鳥栖駅に寄り鳥栖ICより高速道を使用し一路(社)

兵庫県

宮城県における災害医療ボランティア活動報告

派遣人員

- 根来 信也（兵庫県柔道整復師会 学術部長）
藤本 進（兵庫県柔道整復師会 介護保険部長）
中嶋 一嘉（兵庫県柔道整復師会 姫路支部）
松本 雅永（兵庫県柔道整復師会 但馬支部）
現地コーディネーター
大坂 武史（宮城県柔道整復師会 事業部長）



期 日

平成23年4月30日（土）～5月7日（土）

活動場所

宮城県本吉郡南三陸町の各避難所

- ①歌津中学校
- ②平成の森
- ③港親義会館
- ④馬場中山生活センター
- ⑤石浜部落集会所

※ 当初、名足保育所での活動を計画していたが、集団感染（急性胃腸炎）が発生し、5月4日に避難所を閉鎖するため、急遽、災害対策本部にて近隣の避難所である石浜部落集会所の連絡先を伺い、活動を行うことになった。

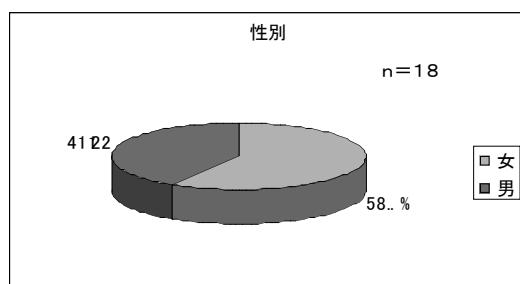
※ その他、歌津地区の避難所

歌津ディサービス、泊浜生活センター、高倉荘、泊崎荘、大磯カネサン倉庫、葦の浜荘、石泉活性化センター、上沢集会所、中在集会所、弘川集会所、樋の口集会所



活動記録

5月1日～6日まで、延べ施術人数 187名（男性 77名女性 110名）、平均年齢：58.0歳±22.8



福井県

宮城県柔道整復師会
豊嶋良一会長様

拝啓 先生には益々ご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。
この度の東北関東大震災において気仙沼市階上中学校避難所にて 5月と6月に福井県より救護ボランティアをさせていただいた報告をさせていただきます。又、今回、豊嶋会長より聞いてきたと、私たちが活動している治療ブースに、東北大学名誉教授仁田先生が、表敬訪問に来ていただき大変恐縮いたしました。とても気さくな先生で統合治療についてのお話や、あいた時間にインターネットを使用し東北大医学部と避難所での遠隔医療相談の様子（画面を通じて視診・問診・心電図・携帯エコーなどでのデータのやりとりなど）を説明いただき見せていただきました。ありがとうございました。今回の活動において、多くの出会いがあり皆さんから学ばせていただいたもの、いただいたものが数多くありました。私たち柔道整復師が医療従事者として救護ボランティア活動ができ、多くの方から感謝をいただいたのは、会長はじめ 宮城県柔道整復師会の皆様の日頃の活動があったからと思います。深く感謝いたします。気仙沼はじめ 東北の被害地の復興が、1日も早く進みますよう心よりご祈念申し上げます。

敬具

福井県柔道整復師会 齊藤和利

東北大震災救護ボランティア活動内容（場所と治療患者数）

1回目 5月2日より5月6日まで4日間 参加柔道整復師3名

(5/5 現在避難者数) 宮城県気仙沼市階上中学校 (277名)

階上公民館 (53名)

治療者数

2日	40名	男 39名	女 69名
3日	58名	実人数 108名	
4日	54名	4日間の治療者人数は延べて 209名	
5日	57名		

2回目 6月16日より6月19日まで4日間 参加柔道整復師3名

(6/15 現在避難者数) 宮城県気仙沼市階上中学校 (149名)

階上公民館 (39名) 階上小学 (39名)

治療者数

16日	18名	男 35名	女 50名
17日	63名	実人数 85名	
18日	35名	4日間の治療者人数は延べて 138名	
19日	22名		

救護ボランティアにて治療した患者総合計数 347名

宮崎県

東日本大震災への宮城県災害救護活動報告

社団法人宮崎県柔道整復師会
副会長 奈須 開生

今回は東日本大震災による宮城県災害医療ボランティア活動を、宮城県で研修時代を送った事のある3名で参加しました。

マスコミによる報道を見る度に、私達が出来る事が無いか、一日も早く駆け付け救護活動に参加したいと思い、日整にボランティア登録を行っていました。

今回、宮城県より救護ボランティア依頼がありましたので、日本柔道整復師会災害対策室の吉沼氏に連絡し、参加する事が出来ました。

●救護班参加人員

- 奈 須 開 生 (宮崎県)
- 白 水 豪 (宮崎県)
- 松 内 佳名子 (福岡県)

●期日

- 平成 23 年 5 月 9 日(月)から
- 平成 23 年 5 月 12 日(木)

●活動場所

1. 宮城県気仙沼の各避難所
(ア)階上中学校 (避難者数 270 名)
(イ)階上小学校 (避難者数 60 名)
(ウ)階上公民館 (避難者数 53 名)

●活動記録

5月10日～5月11日の2日間、延べ施術人数128名(男性30%、女性70%)、平均年齢58歳。負傷部位内訳は以下の通り。

部位	割合	部位	割合	部位	割合
腰部	44%	頸部	28%	肩関節	11%
膝	7%	足関節	4%	手関節	2%
指	2%	股関節	2%	肋骨骨折	2%

- *床で、段ボールに毛布を敷いて寝ている為、腰部、頸部の痛みを訴える患者が多い。
- *日中、アルバイトでがれきの撤去作業に付く為、肩部、腰部を負傷。
- *津波で流された人をロープで縛り引き揚げた時に、腰を負傷。
- *肋骨骨折の82歳の女性は、津波で流された時、ドラム缶が肋骨に当たり負傷。



佐賀県

東日本大震災ボランティア活動報告書

社団法人 佐賀県柔道整復師会
救護ボランティア委員会所属
隈本 克也

この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に避難生活を強いられている方々に心よりお見舞いを申し上げ、被災地皆様のご健康と一日も早い復興をお祈り申し上げます。



はじめに

支援活動に参加する経緯について、まず今回の災害を知ったのは3/11(金)インターネットで「あっ！又地震だ」という程度の認識でした。次第に情報が入ってくる中、最大規模の地震、大津波、原発事故、死者・行方不明者、家屋の全・半壊、と日本人が経験した事のない大災害が起きてしまった。そんな状況の中、僕の中で何が出来るのか、何かしなければ、何をすれば良いのかと考える様になり、仲間の先生と話し合った。その結果、募金活動・支援物資の受付等ではなく僕達に出来る支援を行うべく行動を起こした。

僕たちの生業は、柔道整復業で、日本に於ける古来より続く伝統医療である。この伝統医療を活かした支援活動を行うべく被災地に赴き、ボランティア活動をすることにした。

道路状況等の現状を知りたく、関東在住の友達に連絡すると「何しに行くの？」と聞かれ「柔道整復業をする為に行く！」とだけ答えた。同じ職業の柔道整復師でも温度差を感じたが、その後「何しに行くの？」の言葉の意味を体感することとなった。

活動・記録

2011年3月14日より仲間の先生とメール会議を続けている際に、宮城県柔道整復師会より依頼を受け、第1次派遣4名。4月16日～19日にボランティア活動を行うことに決定。

リーダー隈本圭吾、小幡龍生(熊本)、平野弘道、永石智靖、

4月10日(日)13:00より小城市 梶原整骨院にて具体的な派遣の打ち合わせを行う。

其の時に、第2次派遣を5月14日と5月15日の両日行うことに決定。

リーダー隈本克也、藤井勝則、笠原一馬、隈本共成(学生)

佐賀県

東日本ボランティア活動報告

社団法人 佐賀県柔道整復師会
救護ボランティア委員会所属
藤井 勝則

H23.3.11、テレビに写し出される映像を見て、押し寄せてくる津波に建物、車、人が乗っている車、船、田畑に建てられている鉄骨のハウス、全てのものがいとも簡単に流されていく。この世とは思えないほどの光景に愕然とし、身も心も震える思いがした。とっさに自分に出来ることはないのかという思いが頭をよぎる。阪神淡路震災の時には大変だと思いはしたが、こういう気持ちは起こらなかった。それほど東日本大震災は別格と言うことだ。

一緒に勉強会をしている隈本克也先生と「何か出来ないだろうか？自分の持てる技術、知識を役に立てられたら」という話をしていたが、佐賀県柔整師会からボランティア要請のファックスが流れてきた。やはり今回は違うなという思いがして即座に参加させていただきと連絡をした。が、佐賀県からは、神埼の隈本圭吾先生を責任者に先発隊で4、5名。多くの会員の方が参加されるのかと思っていたので意外な気がした。と同時に果たして自分も行けるのだろうかと不安な気持ちになる。最初のうちは勢いもあつての行動だと少々後悔したが、第2次派遣チーム隈本克也先生を責任者に参加させていただくことにした。

○第2次派遣チーム:隈本克也(責任者)、藤井勝則、笠原一馬、隈本共成
5月14日(土)～15日(日)二日間 その前後、移動日

以下簡単に日程を説明する。

5月13日(金)～14日(土)

唐津駅発(17:30)～福岡空港発(19:55)～東京品川夜行バス発(23:50)～仙台到着(7:00)
仙台駅に着き、レンタカーを借り気仙沼市本吉町仙翁寺へ向かう。宮城県柔道整復師会・大坂武史理事に挨拶をし、南三陸町経由で被害の状況を見ながら現場を案内してもらい、11:40分頃、仙翁寺に到着

13:00 より本堂にて施術(～15:00)

15:00～17:00 千手観音像のある部屋にて施術

18:00～19:00 寺谷コミュニティーセンターにて施術

19:00～21:30 自治本部の方々と懇親会

22:00 就寝

5月15日(日)

5:00～07:00 起床、掃除、ラジオ体操、朝会

8:00～12:00 千手観音像のある部屋にて施術

12:00～13:00 昼食(四国ラーメン)

13:00～15:00 本堂にて施術

15:00～16:00 千手観音像のある部屋にて施術

仙翁寺発(16:30)～仙台駅夜行バス(23:00)～

5月16日(月)

東京到着(6:30)～羽田空港発(9:20)～福岡空港着(11:15)～唐津到着(13:45)

佐賀県

東日本大震災ボランティア報告書

社団法人 佐賀県柔道整復師会
隈本整骨院 笠原 一馬

東日本大震災について

2011年3月11日14時46分18秒)に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した。この地震により、場所によっては波高10メートル以上、最大遡上高38.9mにもものぼる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。

震災による死者・行方不明者は約26,000人、建築物の全壊・半壊は合わせて10万棟以上、ピーク時の避難者は40万人以上、停電世帯は800万戸以上、断水世帯は180万戸以上に上った。

Wikipediaより引用

活動報告

東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

このたび柔道整復師として宮城県気仙沼市にて、ケガの処置、予防、長期の非難所生活によって誘発される生活不活発病の予防を中心とした活動を2日間にわたり行った。その概要と活動内容を下記にまとめる。

記

【概要】

期間：5月13日(金)～5月16日(月)

場所：宮城県気仙沼市本吉町(仙翁寺)

活動人員 隈本克也、藤井勝則、笠原一馬、隈本共成



【宮城県に行く前の思い】

今回第2次派遣として宮城県に赴くことになった。

最初この話を院長からいただいた時の会話は・・・

院長：第2次派遣として宮城県に行ってみらんか、2、3日の間に考えて返事を聞かせてくれ。

佐賀県

“笑顔のありがとう”～東日本大震災ボランティア活動報告書～

福岡医療専門学校

2年生 隈本 共成

まず、今回の東日本大震災で亡くなられた方にご冥福をお祈りします。また被災された方々にお見舞い申し上げます。

5月13日、笠原先生と一緒に5時23分発の電車で福岡空港へ出発する。電車の中ではまだ被災地へ行っているという実感はまだわかかなかった。事の重大さは分かっていたつもりだったが、2ヶ月たった今、自分の中で東日本大震災の記憶は薄れていっていた。

JR博多駅から地下鉄に乗り換え福岡空港に到着。しばらく待っていると、藤井先生と隈本克也先生と合流。飛行機に乗る前にちょっとした軽食をと、4人でご飯を食べた。そこで、実際に現地に行き何をするのか、など具体的な説明を受け、ようやく被災地へ向かっているという実感が少しだがわいてきた。食事が終わり飛行機に乗り込んだ。飛行機の中では戸惑いもあった。実際に現地へ行き自分に何が出来るのか、現地の人とどう接すればいいのか、考えに考え抜いたが、答えは出てこなかった。だが、被災地へ行く前に父から言われた「出来る事をすればいい。」という言葉は、頭の片隅にだが、しっかりと覚えていて戸惑っている時には随分とこの言葉に助けられた。こうしているうちに飛行機は滑走路を走り始め、福岡に背を向け羽田空港へと出発した。

羽田空港に着き荷物を持ってそのまま京急線の電車に乗った。到着したのが午後10時ごろ、さすがにそんなに人はいないだろうと思っていたら、駅に止まるごとにだんだんと電車の中が人でうまってきた。僕たちが降りる品川駅につく頃には結構な数の人になっていた。人の多さに少しびっくりしながら電車を降り、夜行バスの出発場所に行くために駅構内を歩いていると、さっきよりも人が多い。「あらまあ・・・。」と口がすべり、震災の事が頭から離れそうになる。人ごみをかき分け駅の外に出ると高いビルが周りを囲み空が見えない、真上を見上げれば空は見えるものの、星があまりない。逆に、周りにあるビルがピカピカと星のように輝いて見え、また一層と震災の事を忘れさせてくれる。東京にも震度4、5ぐらいはきていたはずだが、まったくそんなことは感じさせない、本当にここは地震がきたのかと思うくらいだった。夜11時、東京を夜行バスで出発、しばらく窓の外を見ていたら意外と早く当りは真っ暗になった。こうして人生初の東京プチ旅行は終わり、仙台に向けて出発した。

途中2回の休憩をはさんだ。2回目の休憩の時、あさか野PAでうっすら空が明るい事に気がついた、時間は午前4時、さすがに北のほうは日の出が早いなと思いながらバスに乗り込み、また寝た。次に起きた時はもう仙台だった。ここも何かと高いビルがたくさんある、ここも都会だなと思いつつ朝食を買いにコンビニへ行く、会計の時、少し肌寒いと感じ店員さんに「今日は寒い方なんですか。」とたずねたら、「今日は結構暖かいほうですよ。」といわれ、少し驚いた。震災当日はもっと寒かったんだろうなと思いつつコンビニを出てレンタカーをかりて宮城県柔道整復師会の会館に到着、大阪先生と合流して今度は気仙沼の方へと車を走らせた。高速から見える宮城県の景色はなんら佐賀と変わらなかった。田んぼがたくさんあり、山もありの自然がたくさんあるところ

石川県

東日本大地震・宮城県 東松島市/松島町/美里町 医療救護ケアボランティア活動 【 報告書 】

活動日 5月23日(月)～27日(金)
 活動場所 宮城県東松島市・宮城県松島町・遠田郡美里町内 避難所
 被災県/担当者 宮城県柔道整復師会 担当者 大坂武史 事業部長
 携帯 090-9030-3761
 活動団体 社団法人石川県柔道整復師会
 SSI・サポート接骨石川
 石川県柔道整復師会赤十字奉仕団
 総責任者 会長 木山時雨
 副責任者 副会長 嶋谷 清、大徳 勇
 活動責任者 総務部長 堂本義邦、副部長 金田豊茂、副部長 木山隆久
 SSI委員長 山下純二、副委員長 中田健市、副委員長 佐藤裕之

現場責任者/STAFF

①班 5月23日～24日(活動) (行程・22日午後発～24日深夜着)
 Staff Leader 佐藤裕之
 sub 金田豊茂(総務副部長、事務・現地調整)
 磯松俊也 東 勝一 北川恵理 ①車両 22日午前10時発・金沢
 岡本 透 川本力雄 ②車両 22日午後 2時発・金沢
 ②班 5月25日～26日(活動) (行程・24日深夜発～26日深夜着)
 Staff Leader 山下純二(SSI委員長)
 sub 木山隆久(総務副部長)
 上島 修 池野 宏 平田和義 ①車両 24日午後 9時発・金沢
 高出伸也 大平和幸 ②車両 24日午後 9時発・金沢
 ③班 5月26日～27日(活動) (行程・25日午後発～27日深夜着)
 Staff Leader 堂本義邦(総務部長)
 sub 山田俊志
 錦川孝彦 森 潤子 坂田浩之 ①車両 25日午後3時発・金沢
 中田健市 森潤子(助手・田中友紀子) ②車両 25日午後1時発・七尾

宿泊日・宿泊場所 宿泊費等自己負担。石巻市では各班夕食は近隣で
 ①班 5月22日 東横イン仙台中央 宮城県仙台市 金田(予約) 朝食付
 5月23日 石巻グランドホテル 宮城県石巻市千石町2-10 TEL 022-593-8111 金田(予約) 朝食付
 ②班 5月24日 車中泊
 5月25日 石巻グランドホテル 宮城県石巻市千石町2-10 TEL 022-593-8111 金田(予約) 朝食付
 ③班 5月25日 パレス松州 宮城県松島町高城浜38 TEL 022-354-2106 山田(予約) 朝食付
 5月26日 石巻グランドホテル 宮城県石巻市千石町2-10 TEL 022-593-8111 金田(予約) 朝食付

車両等 各班で便乗し移動する。ガソリン代や有料道路代等の不足分の経費は各々で負担。
 *高速道路往復無料通行券を発行(石川県へ申請)
 *日本赤十字社石川支部より車両掲示用マグネット5枚を借用し使用する(宮城県内の一般道で使用)
 *本会で日赤奉仕団掲示版を作成しフロントに掲示する

昼食飲料各自用意する。近隣のコンビニ等や持参されたもので対応。

活動内容(東松島市)

長期化する避難所生活からくる、柔道整復師の日常診療科目はもとより、震災前通院中なるも避難中
 にて通院できない方の後療、エコ/ミー症候群予防や廃用性症候群予防ならびに劣悪な環境下
 からくる、お身体の痛みや疲れに対してのボランティア活動
 *避難所によってケアする時間調整し活動を行なう
 *避難所によって避難者が不在もありうる

持参備品 本会 赤十字奉仕団旗・救護ベスト(日赤と本会SSIの2着を準備)・赤十字バッジ・赤十字名札
 衛生材料等 使い捨てマスク・携帯手指消毒
 会員 着替等・日常生活に必要な品。(出発時から帰県まで赤十字ボラベストを着用)

保険 ボランティア保険加入(石川県社会福祉協議会)
 活動中の事故によりケガをした、させた等。自動車事故での対人、対物は補償外。

佐賀県

東日本大震災ボランティア活動報告 2

～ 仙翁寺の皆は 負けねべし ～

隈 本 整 骨 院

隈 本 圭 吾

6月11日(土)宮城県では九州よりは少し遅い新緑の季節を迎え、被災地をも優しく包んでいた。救護ボランティア(以下、ボラと略記)派遣チームとしては3度目、私は2度目の気仙沼市本吉町仙翁寺避難所でのボラ活動である。治療の空き時間を使って地元の篠原さんという方が3か月経った現状を知ってほしいとの事で気仙沼市内を案内して頂いた。

リアス式海岸の湾は長崎市内のような地形をコンパクトにした感じで、小高い岡からV字型の湾で少ない平地がその特徴だ。その市内は住宅や水産加工会社などひしめく様に建っていた形跡を残していた。

湾に突き出た小高い岬の稜線から海に目を転じて、港湾施設から自分の足元を見ると明らかに地盤沈下が認められる。案内して頂いた篠原さん曰く50cmから1mは土地が下がっていると言う。住んでいた自宅の窓から見る景色が、いつも見慣れた所からの眺めなど視線の高さが一瞬のうちに下がるという地殻変動が確認出来る。今は静かな港湾の水面が上昇して水位が高いように見える。(写真1) また冠水による海水が黒いヘドロと共に引かずに溜まっている。(写真2)



写真1



写真2

自衛隊などによる復興用の仮設道路と工場跡地の段差があり一部水溜りの上を車で通過した。海の香りと油の匂いと魚の腐敗臭が混濁した匂いが鼻を衝く。気分が悪くなりそうと思わず鼻を摘んだ。悲惨だ。打上げられた巨大なタンカーが墓標のようである。(写真3)

佐賀県

東日本大震災救護ボランティア活動報告書 2

社団法人 佐賀県柔道整復師会
救護ボランティア委員会所属
隈本 克也

梅雨前線が西日本を覆い尽くす中、宮城県気仙沼市本吉町寺沢の仙翁寺避難所へ第3次救護ボランティアに参加した。
社団法人宮城県柔道整復師会から5月31日付を以って、同会災害ボラ対策本部解散とボラ派遣受け入れ終了の知らせが届いていたが、5月25日の時点で第3次派遣の日程を6月11日～12日と決定。飛行機・高速バス等チケットの購入も済ませた旨を宮城県柔道整復師会に連絡し、第3次派遣の6月11・12日、両日の活動の快諾を受け、又仙翁寺避難所閉鎖が6月12日に決まったことも岩下副会長より連絡を受けたが、第3次派遣に隈本圭吾と隈本克也の両名で行く事を決めた。

6月10日（金） 福岡空港 19:55 発 悪天候為、1時間遅れで出発。

羽田空港 22:20 到着。新宿 23:30 到着。

6月11日（土） 新宿 00:15 発 仙台駅西口 6:10 到着。朝食を済ませ 6:30 レンタカーを借りる。

7:00 に社団法人宮城県柔道整復師会事務所にて

新任の事業部長、佐々木俊夫先生と待ち合わせ。

ボラ派遣の受け入れ終了となっているも、簡易ベッド・衛生材料など

の提供を受け、ご挨拶を交わした後、宮城県柔道整復師会事務所を 7:05 発。

仙翁寺避難所を目指す。9:30 仙翁寺避難所到着。

自治会本部へ（ブルーシート小屋）御挨拶に行き、大内会長、岩下副会長はじめ皆さんが慌ただしく後片付けの最中、満面の笑みで握手。「おかえり！」の言葉を頂く。

又来たんだなあ～と実感する。

続いて行政本部にも御挨拶をして今日の予定を聞くと医療関係団体が派遣されて

千手観音の部屋は使えず本堂横の大広間奥を使わせて頂き、救護ボラ活動を行うことになった。

午前中の診療を終え、昼食時間になりお寿司を頂く為に列に並んでいると、

前回治療した患者さんからも御挨拶頂き、午後からの治療にも来て頂いた。一段落すると

大谷公民館に移動。行政担当者に治療の旨を話し会議室を貸して頂くも、ほとんどの人が仮設住宅に引っ越した後で、数名の方たちが掃除をなさっていた。

6月11日（土）施術人数

大谷公民館避難所 2名

仙翁寺避難所 16名

合計 18名



災害救護活動
 県内会員ボランティア活動
 ……4頁・9頁から14頁
 少年柔道大会……………44頁
 会員近況……………46頁





平成23年度 第1回通常総会

平成23年5月22日(日) 開催
赤門鍼灸柔整専門学校国分町校舎

平成二十三年五月二十二日(日)赤門鍼灸柔整専門学校国分町校舎を会場に開催され、亀井 啓理事の司会進行、中川利光副会長の開会の辞により平成二十三年度第一回通常総会が開会されました。また開会に先立ち東日本大震災にて亡くなられた多くの方々に対し哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

最初に豊嶋良一会長より挨拶があり、その中で多くの会員が被災された中、色々な形はあるが再開されている会員が多数いること、社団各県から義援金、救援物資をたくさん頂いていること、事務職員を含め役員は自分の仕事の時間を割いて会員の安否確認や支援活動を行っていたこと、またボランティア活動を率先して行っている会員が大勢いたことなどへの感謝の意、親類縁者の被災または亡くなられた方々の為にも、柔道整復師という立場を通し、いろいろな形で貢献していくとの決意、会員の生活を守り、経営を立て直すにはどうすればよいかを懸命に考え、会員相互の協力を呼びかけられました。公益認定について、震災により県の対応も遅れているようだが、お盆頃までには結果を出したいこと等が述べられ「真の意味での公益活動をしていきたい」との言葉で挨拶を括られました。

議事に入る前に永年の功績を称え当会相談役、日下治夫会員に感謝状贈呈が執り行われ(ご本人は体調不良のため欠席、紹介のみ)永年会員表彰、新入会員紹介があり、その後

議長に佐々木裕忠会員、副議長に中島正彦会員、議事録署名人に小松祐司会員、椎名亮文会員が選出され議事に入りました。

第一号議案から第三号議案まで滞りなく承認され、第四号議案、役員改選について、会長選挙が行われた結果、豊嶋良一会員が再選され、副会長、理事、監事が信任承認され新役員が誕生しました。

最後に木村清徳副会長による閉会の辞で、平成二十三年度第一回通常総会は滞りなく閉会となりました。

平成二十三年三月十三日 総会について

平成二十三年三月二十五日(金)午後二時三十分臨時理事会が開催。

平成二十二年度第二回通常総会は大震災のため中止になり、急遽、全ての議会議案について、全会員向け郵送で承認可否を求めることを理事会に於いて決定。

三月総会の審議内容について、承認回答二三四票、委任状一六六票、合計三〇〇票、総会員数三七五名の四分の三以上の同意により可決承認されました。



統括筆頭理事
櫻田 裕



副会長
木村 清徳



副会長
中川 利光



理事
松本 浩二



理事
稲葉 泰三



理事
目時 誠



監事
太田 作郎



監事
小野木 馨



理事
芦澤 卓也



理事
佐々木俊夫

新執行部紹介

社団法人宮城県柔道整復師会 組織機構

特別顧問	医事評論家	水野 肇	評議員会議長	寺澤 豊志	
顧問	衆議院議員	小野寺五典	評議員	沼澤 政敏	佐々木裕忠
顧問	衆議院議員	秋葉 賢也		若井 晃	
顧問	参議院議員	愛知 治郎	外部評議員	鮫名 満	高橋 武彦
顧問	前衆議院議員	土井 亨		松川いづみ	杉浦 永子
顧問	前衆議院議員	中野 正志	顧問弁護士	森山 博	
顧問	宮城県議会議員	今野 隆吉	顧問税理士	佐々木英男	
顧問	宮城県議会議員	菊地 浩	相談役	洞口 直	柴田仁市郎
顧問	宮城県議会議員	本木 忠一		大橋 良雄	及川 靖
顧問	宮城県議会議員	皆川章太郎	参 与	佐々木 賢	佐々木弘毅

役 職	氏 名	担 当	部 員 (○は主任)	管 轄
会 長	豊嶋 良一	・日整理事	保険部会保険部員	*会長諮問員 大坂 武史
副 会 長	中川 利光	・東北柔道整復師連合会副会長		
副 会 長	木村 清徳	・日本柔道整復接骨医学会理事・評議員		
副 会 長	中川 利光	・日整代議員	学術部会生涯学習部員	
統括筆頭理事	櫻田 裕	・東北柔道整復師連合会理事 (学術担当者)		
		・社団事業企画推進		
		・日整代議員	・渉外担当	
理 事	目時 誠	総務部長	○藤本 淳也 別府 崇幸	・会員動向管理 ・総会、理事会、評議員会開催 ・事業計画 ・事務局管理 ・公文書管理 ・会館保守管理 ・施術所開設指導 ・任意組合
		学術部長	○本木 利之 櫻本 和夫 若生 壮司	・宮城県「柔道整復学」構築学会 ・宮城学術認定柔道整復師認定委員会 ・宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 ・柔整スクール ・生涯学習 ・研修企画 ・東北柔道整復師連合会事務局長 ・日本柔道整復接骨医学会評議員
理 事	稲葉 泰三	経理部長		・入出金管理 ・予算決算財産管理 ・会員税務指導 ・療養費支払い管理 ・SVM福祉募金
理 事	松元 浩二	保険部長 学術副部長	○齊藤 拓幸 藤井 裕文 越後 勇人 尾形 謙	・宮城県柔道整復療養費審査委員会 ・療養費の取り扱い ・保険審査、指導 ・自賠責保険 ・介護保険委員会 ・入会面接
			佐藤 勝一	・リスクアセスメントアドバイザー
理 事	佐々木俊夫	事業部長	○林 伸也 椎名 亮文 郡山 正義	・新規事業開発 ・柔道大会推進委員会 ・SVM ・SVM福祉募金箱 ・子供とお年寄りの避難所 ・スペシャルオリンピックス日本宮城 ・会員相互扶助、親睦
理 事	芦澤 卓也	広報部長	○佐藤 敬一 千葉 勝弘 平山 修	・会報発行 ・広報ワーキンググループ ・対内外広報 ・ホームページ管理
監 事	小野木 馨 太田 作郎			

選挙管理委員会

委員長 酒井 賢一
副委員長 高橋 英樹
委員 千葉 勝弘
林 伸也
藤本 淳也

(任期 平成23年4月1日～25年3月31日)

柔道大会推進委員会

委員長 木村 清徳
副委員長 佐藤 昭彦
※ 全日本柔道連盟登録担当 事務局

介護保険委員会

委員長 久野 貴史
委員 工藤 健人 千葉 昌彦

柔整スクール

顧問 柴田仁市郎
校長 亀井 啓

広報ワーキンググループ

主任 庄子 和良
委員 柴田 道文

接骨院ボランティア宮城

幹事 齊藤 拓幸
副幹事長 皆谷 哲也

地域代表

気仙沼・本吉地域	中川 久秀
石巻地域	大江 強
登米地域	中島 正彦
栗原地域	小山 高弘
大崎地域	菊地 慎治
仙台北地域	林 伸也
仙台(泉)地域	田中 俊一
仙台(青葉)地域	椎名 亮文
仙台(宮城野)地域	久野 貴史
仙台(若林)地域	千葉 勝弘
仙台(太白)地域	佐藤 鉄哉
仙台南地域	櫻本 和夫
仙南地域	大宮 茂

子供とお年寄りの避難所

代表 豊嶋 良一
避難所 全会員施術所

宮城県柔道整復療養費審査委員

副委員長 櫻田 裕
委員 日時 誠 松元 浩二
稲葉 泰三 芦澤 卓也
佐々木俊夫

スペシャルオリンピックス日本・宮城医療委員

副医療委員長 齊藤 拓幸

宮城県「柔道整復学」構築学会

名誉会長 水野 肇 医事評論家
(社)宮城県柔道整復師会特別顧問
名誉副会長 佐藤 捷 帝京大学医療技術学部
柔道整復学科教授
医学博士
会長 豊嶋 良一 (社)宮城県柔道整復師会会長
副会長 鈴木 省三 仙台大学体育学部学部長心得
教授 学術博士
宮城学術認定柔道整復師認定
委員会委員長
宮城県「柔道整復学」構築研究
委員会特別顧問
筆頭理事 日時 誠 (社)宮城県柔道整復師会理事
理事 松元 浩二 (社)宮城県柔道整復師会理事

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会

特別顧問 鈴木 省三 仙台大学体育学部学部長心得
教授 学術博士
宮城県「柔道整復学」構築学会
副会長
宮城学術認定柔道整復師認定
委員会委員長
委員長 岩佐 和之 (社)宮城県柔道整復師会会員
副委員長 新井田一吏 (社)宮城県柔道整復師会会員
委員 若井 晃 (社)宮城県柔道整復師会会員
アドバイザー 庄子 和良 (社)宮城県柔道整復師会会員
酒井 賢一 (社)宮城県柔道整復師会会員

宮城学術認定柔道整復師認定委員会

委員長 鈴木 省三 仙台大学体育学部学部長心得
教授 学術博士
宮城県「柔道整復学」構築学会
副会長
宮城県「柔道整復学」構築研究
委員会特別顧問
委員 豊嶋 良一 宮城県「柔道整復学」構築学会会長
(社)宮城県柔道整復師会会長
藤本 敏彦 東北大学 高等教育開発推進センター
東北大学大学院医学系研究科
能医科学講座 運動学分野
医学博士
高橋 武彦 赤門鍼灸柔整専門学校教務課主任
日時 誠 (社)宮城県柔道整復師会理事
岩佐 和之 (社)宮城県柔道整復師会会員
仙台接骨医療専門学校 非常勤講師

平成二十三年七月三日(日)、当会の主催で石巻商業高等学校柔道場において文部科学大臣杯争奪第二十回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会が開催されました。



文部科学大臣杯争奪 第20回 日整全国少年柔道大会予選 宮城県大会



本来四月二十四日(日)に行われる予定でした。ところが大震災が発生し、後に開かれた東北ブロック理事會に於いて、今年、来年度の二年間東北ブロック事業を基本的には中止することを決定したため、宮城県大会も中止となつてしまいました。

しかし少年柔道大会については、子供達の動揺や、これまで重ねてきた努力など精神的な面も配慮し、少しでも元気を取り戻してほしいとい

う願いから、各県毎に対応を決め、日整全国少年柔道大会に参加する事となりました。

宮城の対応としては、女川町体育館をはじめ、多くの会場候補施設が、避難所として使用されているため会場選定に苦慮。さらに参加する子供達など安全への配慮等、様々な思案の結果、当初の計画より大幅な縮小を余儀なくされるものの、前年度上位四チームによる予選會に漕ぎ着けることが出来ました。

参加する子供達や関係者など、多





この後、小学団体優勝の木村柔道の事情を鑑み、参加チームに限りはありましたが、各チームとも優勝を目指し気迫のこもった熱戦が繰り広げられ、白熱のうちに滞りなく幕を閉じました。

この後、小学団体優勝の木村柔道



館は、平成二十三年十月十日に講道館で開催される「第二十回日整全国少年柔道大会」へ出場されますので、県代表として、精一杯力を出し切って頂きたいと思えます。

宮整広報部

会員近況



5月 ハーモニカ

遠藤 好則

東京整骨院
(青葉区上愛子)

5月 自宅の柔道場にて弟子達と



7月1日 整骨院で
研修生・妻と三人



金井田卓也

かないだ接骨院
(巨理郡山元)



平山 修 平山接骨院(若林区沖野)



太田 作郎 みどり台接骨院(名取市みどり台)



大内 陽介 鈴木接骨院(泉区将監)



黒田 充
黒田鍼灸整骨院
(青葉区国分町)



岸 高德 仙台東口かえで整骨院(宮城野区車)



佐藤 敬一
荒井鍼灸接骨院(若林区荒井)



椎名 亮文 どんぐり整骨院(青葉区八幡)



清水 秀章
よつば鍼灸接骨院
(黒川郡大和町吉岡)



佐藤 鉄哉 ながまち接骨院 (太白区長町)

6月22日(水)入籍しました。
今後とも2人でがんばっていきます!!



目黒 喜浩 目黒真理子
めぐろ鍼灸整骨院 (角田市角田)



鈴木 崇晃 泉中央杜都整骨院 (泉区泉中央)

5月1日 3日間のボランティア活動を終え
それぞれアラスカ、九州、各地に帰路に就きます。



芦澤 卓也 グリーン接骨院 (塩竈市尾島町)



渡辺 辰夫
渡辺接骨院
(柴田町船岡東)



三浦 吉幸
三浦接骨院
(青葉区愛子東)



田中 麦彦 麦接骨院 (宮城野区出花)



目時 誠 洞口整骨院 (名取市増田)

いつもいつもお世話になっております。
今回の地震、事務局のスタッフのみなさまにおかれましては大丈夫だったでしょうか？本町七ヶ浜でも被害甚大で、患者さんで亡くなった方、家を流出された方など辛い状況です。今回の地震では近所の方が自然発生的に本院に集まってこられ、避難所として町で認めてもらって（町のホームページにも名前が乗ってるようです）、食糧の配給を受けて、しばらく共同生活をしていました。またその間避難所をまわって患者さんの安否を確認したり、痛みを抱えている方の体のほぐしをしてあげたりして個人的に活動していました。しかし柔道整復師の立場がこんな状況ではとても微妙に関わり方が難しいことを再認識させられました。でも関わられた方は楽になったと喜んでいただき、微力ながら援助になったかなとらえています。近況報告のような文章になりましたが、今後も柔道整復師の地位向上と認知のために貢献できるように精進したいと思います。スタッフのみなさまにおかれましても健康に留意され、お仕事がんばってください。今後ともご迷惑かけるとは思いますが、よろしくお願ひします。

健作接骨院 平田健作

新入会員紹介



H22. 12. 17入会

北 真盛

長町南トントン整骨院
(仙台市太白区長町南)



H22. 12. 14入会

目黒 喜浩

めぐろ鍼灸整骨院
(角田市角田)



H22. 12. 14入会

丹野 悠介

あけの平整骨院
(黒川郡富谷町あけの平)



H22. 12. 14入会

柴田 良彦

さかえ鍼灸接骨院
(仙台市若林区新弓ノ町)



H22. 12. 14入会

大内 陽介

鈴木接骨院
(仙台市泉区将監)



H23. 4. 1入会

堀 肇

豊里整骨院
(登米市豊里)



H23. 4. 1入会

千葉 典子

野呂接骨院
(登米市迫)



H23. 4. 1入会

折館 龍

たんぼぼ整骨院
(仙台市宮城野区原町)



H23. 4. 1入会

久世 尚志

くぜほねつぎ整骨院
(仙台市青葉区栗生)



H23. 4. 1入会

魚崎 宇宙

さとう接骨院 沖野
(仙台市若林区沖野)



H23. 4. 1入会

太田 博也

まえだ中央整骨院
(大崎市古川)



H23. 4. 1入会

郡山 敬信

中江整骨院
(仙台市青葉区中江)



H23. 4. 1入会

庄司 健一

ますだ整骨院
(名取市増田)



H23. 4. 1入会

岸 高德

仙台東口かえで整骨院
(仙台市宮城野区車)



H23. 4. 1入会

新岡 大輔

小松島のどうはく整骨院
(仙台市青葉区小松島)



H23. 5. 24 入会
望月 陽平
もみの木整骨院
(名取市飯野坂)



H23. 5. 24 入会
村山 武志
はるかぜ鍼灸接骨院
(仙台市青葉区吉成台)



H23. 5. 10 入会
伊丹 保雄
伊丹整骨院
(仙台市宮城野区鶴ヶ谷)



H23. 4. 26 入会
齊藤 三夫
五輪整骨院
(仙台市宮城野区五輪)



H23. 4. 12 入会
門馬 章人
モン吉接骨院
(仙台市青葉区落合)



H23. 7. 13 入会
小森 豊
ちいさな森整骨院
(仙台市泉区市名坂)



H23. 7. 13 入会
大和 成也
佐藤接骨院 泉中央
(仙台市泉区泉中央)



H23. 6. 8 入会
片山 久
片山整骨院
(角田市角田)



H23. 5. 24 入会
阿部 祐也
住吉台一二三接骨院
(仙台市泉区住吉台)

募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの団体です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていないませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。
あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一步前へ！

訃報



山内 四郎 会員(享年六十三歳)
(平成二十三年三月十一日没)



入会年月日 昭和五十三年四月一日

役員歴

現 石巻接骨医学研究会創設 発起人
(昭和六十二年二月)

同 事務局会計
同 副会長(平成十一年五月)

長年の当会への多大なるご尽力に対し
心より感謝し
悲しいお別れに際し
謹んでお悔やみ申し上げます
ご冥福をお祈り申し上げます



三浦 雄三 会員(享年四十六歳)
(平成二十三年五月二十六日没)



入会年月日 平成九年九月四日

長年の当会への多大なるご尽力に対し
心より感謝し
悲しいお別れに際し
謹んでお悔やみ申し上げます
ご冥福をお祈り申し上げます

「今」津津

東日本大震災に伴う福島第一原発の事故は、事故そのものの重大さもさることながら、その後の政府及び東京電力の対応の悪さ、ならびに情報の隠蔽体質を露わにしました。

震災直後の対応が迅速であれば多くの被曝を防げたのではないかと指摘はご周知のとおり、多くのジャーナリストや学者が指摘しております。

事故以来、莫大な放射性物質が外界に飛散し、当然、宮城県でもその飛来が確認されることとなりました。原発事故後、宮城県では暫くの間、放射線量の公表は行われておりませんでした。徐々に宮城県内での放射能汚染が懸念されるにつれ、当院においても何人かの患者さんが会話の中で不安を漏らす機会が増えていきました。県内の多くの先生方も同様の状況ではなかったかと思われます。まして県南の先生方の懸念は当院のそれとは比較にならないほど深刻な状況かと思われます。

当院の所在である登米市は全国でも有数の米所であり、野菜、畜産、花卉なども非常に盛んな農村地帯です。そうしたこともあり、農作物への影響を心配する農家の患者さんが少なくありませんでした。また小さいお子さんをお持ちのお母さんからもそうした不安を聞く機会が増えていきました。

マスメディアから伝えられる断片的情報や専門用語、難解な数値と単位、安全の基準の不明瞭さ、政府・東電の情報の不透明性・等々が不安を増長させていたのはい言うまでもありません。

最近になり登米市内でも放射性物質の定点観測データや野菜の残留データの解析及び数値の公表が進みました。公表データからは懸念されていたような数値が現れず、なんとかこのまま諸々の不安が収束していくのでは、と安堵していた矢先、七月十五日には全国ネットで登米市の稲藁から基準値をはるかに上回る放射性物質が検出されたことが大々的に報道されました。風評を恐れていた隣の農村地帯において遂に「実害」の恐れにとって代わり始めました。

春先に作付した野菜は出荷を迎え、

稲作も田植えから二カ月足らずであり、稲藁を飼料としていた畜産農家、それぞれに与える打撃は今後どのようなものになるか、全く予断を許さなくなつてまいりました。そしてそこに住まう住民も言葉に表せない潜在的な不安を抱えながらの生活が余儀なくされます。しかもその収束の仕方、時期は専門家にすら分からない状況です。

今後、我々は、何を基準に何を頼りに行動しなければいけないのか。その問いに明確に答えられる人はいないと思われます。現時点での唯一の答えは「個人の判断」ということしかないのだと思います。それは正解も間違いもない極めて厳しい選択や判断になるかと思ひます。個人の選択と判断。こうしたことは官僚主導で築いてきた様々な社会的システム下で、我々にとつては非常に不慣れで、初めての経験になるのかもしれない。大げさに言えばこの原発事故、震災を通して明らかかな個人のある方の変革をも迫られているように思えてなりません。

広報ワーキンググループ

柴田 道文

……「國見鶏」……

東日本大震災で被災されました全ての皆様に、お見舞い申し上げます。また今回の大災害において、犠牲となられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様からのお悔やみ申し上げます。

今回の地震は規模が桁外れに大きく、未曾有の大災害と言われ、四百年に一度の大地震、千年に一度の大津波と表す程の巨大地震でした。その為三十年に一度の宮城県沖地震に對して、準備を進めてきた私達の想定を遥かに超え、甚大な被害が出てしまいました。

また地球規模の変化としては、瞬きする一時の自然現象ですが、私達にとつては歴史的大事件でした。そしてこの時期、この世に実在し、事実を目撃した証人となった訳です。偶然必然を問わず、時の流れとの巡り合わせを感じます。

これまでも地球の歴史の中では、何回もの大地震が発生し、その度に

大津波も繰り返されてきたのだろうと思います。その時遭遇した先人達はどうかだったのでしょうか。その事実を後世に伝えようとは思わなかったのでしょうか。実は先人達も私達に伝えようと知恵を絞り、「蛸薬師」とか「波分神社」など、地名として語り伝えようとしていたのです。しかし時間の経過と共に、貴重な情報は色褪せ、何時しか忘れられてしまいました。

先人の経験が生かされ、功を奏した地区も有ります。ここでは昔大津波で家ごと流され、犠牲者も多数出てしまい、残った人達は村ごと高台に移り住み、それ以後仕事場は海岸にあっても、住居は高台に建てることを地区全体で守ってきたそうです。その結果今回の津波では犠牲者が出なかつたということなのです。

これに反して昔も被害を受け、二度の移転にも拘わらず今回も被災、先人の経験以上の大津波は、また新たな苦難となつてしまった地区もあります。

いずれの地区でも、先人達は後世に経験を伝えようと努力し、その片

鱗は私達の文化として息づいてきたのだろうと思います。

私達の体内でも後世から伝わるものが幾つかありますが、DNAもその一つです。個人を示すその情報は、祖先から受け継ぐ確かな遺産です。科学的な考え方ではありませんが、もしこのDNAが生き物と仮定すると、肉体の情報を管理し、融合分離を繰り返しながら、その肉体が朽ちる前に次の肉体に移り、存在を維持しています。もしかすると時代毎の情報も刷り込まれ、先人の経験も潜在的意識として持ち合わせているのではないかと仮想してしまいます。

さて、こんな風に思いを巡らすと、大災害が発生した今年こそ、この経験や気持ちをも未来へのメッセージとして、発信すべき時だと思えます。取り敢えずは三十年後の準備をしなければと。さらに四百年後、千年後の私に何を残し、何を伝えるか、今こそ考え、活動をはじめるときだと思えます。

広報ワーキンググループ

庄子 和良

宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員

株式会社 エス・エス・ビー

株式会社 カナケン

株式会社 グローバー

日本プロジェクト 株式会社

株式会社 メディカルプランニング

燦ケアサービス 株式会社

株式会社 パールシャープ仙台

マクターエンジニアリング 株式会社

株式会社 エフ・アイ・エル

ダイヤ工業 株式会社

朝日電子東北販売 株式会社

宮城県「柔道整復学」構築学会の活動をご理解頂き、学会を支えて頂く賛助会員各社でございます。

宮城県「柔道整復学」構築学会は、会員の皆様が、レセプトシステム・超音波診断装置・医療機器・衛生材料・医薬品のご用命の際には、宮城県「柔道整復学」構築学会として、賛助会員各社を会員の皆様に推奨致します。

宮城県「柔道整復学」構築学会推奨

レセコン・超音波観察装置のご用命は、安心と信頼のブランド、SSBへ
柔整業界トップのシェアと知名度を誇る実績、
全国に9,000件のユーザーを持つ商品力と信頼!

柔道整復師向け事務管理システム

三四郎くんX3

Windows XP/Vista^{2bit}/7^{32bit}対応



面倒な保険請求業務も、三四郎ならラクラク簡単!

オプションで三四郎くんがさら便利に!

保険証OCR

専用スキャナーで保険証の読み取りが可能です。

THE・青色申告

三四郎くんのデータが移動可能な青色申告ソフトです。



オステオトロンIV

超音波骨折治療器

先進医療適用の
 超音波骨折治療器(LIPUS)!
 ACアダプターからの起動で
 利便性がさらにアップ!

先進医療適用!

超音波観察装置ラインナップ

日立メディコ
MyLab Five

プレミアムクラスに迫る描出力!
 複数の高周波リニアプロニブも選択可能な
 運動器観察に場所を選ばない
 MyLabシリーズの最新機種!



バッテリー搭載で
 往診に最適!

新登場!!

※バッテリー駆動時間については、
 営業にお問い合わせ下さい。



MEDISON
SONOACE PICO

コンパクトボディに
 カラードットを搭載



本多電子初の
 デジタル機、新登場!

本多電子 **HS-2100**



MEDISON
SONOACE X6

新開発12MHzロープを採用!

15インチカラー液晶
 モニター搭載!

※その他、様々な機種を取り揃えております。

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

仙台営業所 〒984-0015宮城県仙台市若林区卸町5-2-10卸町喜喜ビル301号
 Tel. 022-236-7211 Fax.022-236-7212

本社:つくば 営業所:東京、札幌、長野、北陸、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

弊社ホームページで各機種のサンプル画像を
 動画で配信中です。是非一度ご覧下さい。

業界最新情報はこちらから!
<http://www.sanshiro-net.co.jp/>

パルス (低周波治療器)

Lasper-A

ラスパーエース Version-2

進化する波 ラスパーウェーブ

それは、ソフトな当たりでしっかりした刺激を確実に伝える理想の波形です。



設定周波数

微妙な治療の周波数帯を完全カバーした24段階ロータリースイッチ (電子音表示)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
周波数	0.1	0.3	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
No	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
周波数	2	2.5	3	5	7	10	15	20	30	50	75	100

*頻繁に使用する周波数を記憶しています。*0.1Hzでピーク音ビビ(警告音)を設定しました。

最大出力電圧をアップ

経皮電極用(高)モードは最大42Vp-pから48Vp-pにパワーをアップ。経皮通電の物足りなさを幾分解消させました。

ラスパーウェーブ

チャンネル間の干渉がない。

治療時間を液晶で表示。

電子音で操作を確認。

携帯に便利な軽量設計。

ラスパーエース バージョン2

KE-115 47,250円 (本体価格 45,000円)

(クラスII/特管) 認証番号219ALBZX00005000

仕様

- 出力チャンネル数 4チャンネル
- 定格電圧 DC7.5V (単2形乾電池×5本)
- 最大出力電圧 48Vp-p
- 最大出力電流 3.4mA (500Ω負荷時)
- 出力周波数 連続モード 0.1Hz~100Hz
間欠モード 3.0Hz~100Hz
- ミックスモード 3&10Hz、3&15Hz、3&30Hz、3&50Hz
- 治療タイム 5、10、15、20、25、30分
- 安全装置 ゼロスタート方式、出力レベルインターロック
- 寸法 H88×W235×D165±5mm
- 重量 570g (電池除く)

本体及び付属品

- 1. 本体.....1台
- 2. 新通電コード4色組 1組
- 3. 粘着導子 (TRS-2822) 1袋6コ入.....2袋
- 4. 単2形乾電池.....5本
- 5. 取扱説明書.....1冊
- 6. 添付文書.....1枚
- 7. 保証書.....1部
- 8. 保証登録書.....1部



- 粘着導子 (TRS-2822) 1袋6コ入 KE-116A 945円 (本体価格 900円)
- 新通電コード4色組 KE-116D 6,300円 (本体価格 6,000円)
- 新通電コード1本 KE-116E 1,680円 (本体価格 1,600円)

細胞に働きかける

Bio Kanax

マイクロカレント
微弱電流

バイオカナックス

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

バイオカナックス

KE-525 892,500円
(本体価格 850,000円)

プロの要求に応えるプログラム機能搭載

バイオカナックスは生理学的な最新情報にもとづいて、複数の大学医学部を始め、数多くの専門医の研究と協力によって開発された、小型マイクロアンペア治療器です。治療に最適なプログラムと、正確なマイクロアンペアがインプットされており、完璧にコンピュータで制御されています。そのため治療効果が出やすく、効果も長時間持続します。



仕様

- 仕様
- 定格電圧: DC9V 単一型電池 (1.5V) × 6
- 消費電流: 40mA、出力電流: 28μA~500μA
- 出力電圧: 14mV (500Ω負荷) MAX=35V
- 出力周波数: 0.1Hz~500Hz、出力系統: 2チャンネル
- 外形寸法: H132×W320×D250mm
- 本体重量: 2.3kg
- (クラスII/特管) 医療用具承認番号21200BZZ00333000

●独自の4極干渉通電方式

- 痛みを、筋肉系・神経系に分けて治療します。
- 部位を選べば、プログラム治療ができます。
- ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
- ディスプレイで、治療状況を把握することができます。

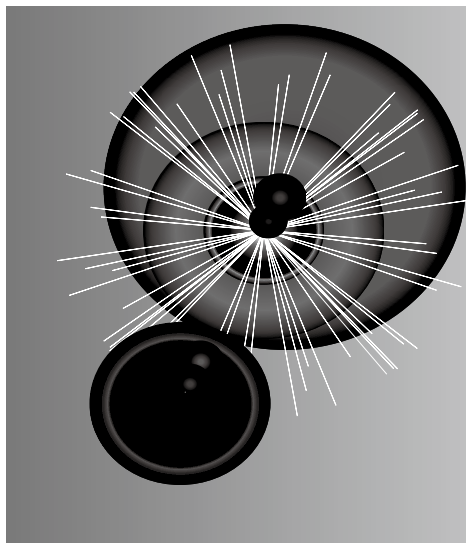
総発売元 **株式会社 カナケン**
本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262
http://www.e-kenkou.jp/ E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016代 FAX 06-6935-3017
新潟営業所: TEL 025-286-0521代 FAX 025-286-8870
福島営業所: TEL 024-961-7211代 FAX 024-961-7221
仙台出張所: TEL 022-287-6273代 FAX 022-287-6218
千葉出張所: TEL 043-286-6466代 FAX 043-286-6366

高電子水が身体をケア

BODY ボディ ライト クリーム
LIGHT
CREAM

硬くなった筋肉を素早くやわらげる



治療後のケア
肉体疲労の回復
筋肉疲労の回復
筋運動の向上
怪我の予防
肩こり・腰痛



ボディ ライト クリーム 50g

水、グリセリンホバ種子油、BG、ステアリン酸、ステアロイルグルタミン酸Na
ペイタン、ミツロウ、ミスチン酸、香料、メチルパラベン、(アクリル酸/アクリル
酸アルキル(C-10-30))コポリマー、グリチルリチン酸2K、キサンタンガム、
プロピルパラベン、酢酸トコフェロール、水酸化K、ヒアルロン酸Na

定価¥3,600(税別)


 GROWBER
株式会社 グローバー

〒981-8003
仙台市泉区南光台5丁目12-26
TEL022-728-9187
FAX022-728-9188
フリーダイヤル0120-05-9187

開業・機械入替の予算で
お困りの方は、ご連絡下さい！



総合医療商社

 **日本プロジェクト株式会社**

本 社 〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-11-15
TEL 027-253-5818 FAX 027-253-5817

仙台営業所 〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田2-4-6
TEL 022-282-0944 FAX 022-282-0972

I 接骨院・鍼灸院を専門に開業・総合プロデュース

- ①物件・インテリア・内装・リースに関する提案
- ②開業資金ゼロからスタート出来ます
- ③オープン後の集客までていねいにアドバイス致します
- ④衛生材料・医薬品・医療機器卸
- ⑤看板・内装・床・カーテン工事・シール 格安！

II セミナー・勉強会開催

- ①機械・材料・エステ・リラクゼーション
事業資金(事業計画書) 勉強会
- ②接骨院・鍼灸院 開業準備勉強会
- ③保険請求勉強会
- ④融資コンサルセミナー(資金調達のポイントを詳しく説明致します)

III 経営コンサルタント・イベント事業

- ①プロ営業マン養成(ブログにて詳しく説明！)
- ②企業とのタイアップセミナー提案
- ③経営セミナー(繁盛院・接客・・・)
- ④売上改善計画・リスク支援・各種助成金の提案
- ⑤集客イベント用機器レンタル
インボディ(体成分測定)・ボディチェッカー(血管年齢・自律神経)・VTSTレーニングシステム(動体視力)・肺活量測定・・・ その他

IV 接骨院レセプト事業

- ①メディカルレセプトシステム「Ver5.0」
安心！確実！格安！
価格50万円(ソフト) 5年リース 月々約1万円
リース終了後、年2万円で保守メンテ。ソフトの買い替え必要無し！

V 損害保険代理店事業

- ①交通事故勉強会
- ②傷害保険勉強会
- ③適正で合理的な保険設計の提案(提携FP)
- ④個人事業・法人事業の保険設計のアドバイス(提携FP)
- ⑤患者様への保険セミナーの提案
- ⑥自動車保険・傷害保険・火災保険・年金保険・・・各種保険の提案

MEDICAL

株式会社メディカルプランニング
株式会社医愛会[直営・出資・レンタル業務]
〒981-1222
宮城県名取市上余田字千刈田472
TEL022-382-9768 FAX382-9769

【医愛会グループ直営院】

・秋保鍼灸整骨院
・なとり鍼灸接骨院
・メディカルフィットネスクラブ
見学いつでもOK！
・医愛会接骨塾 毎月開催(無料)

URL <http://www.medical-planning.co.jp/>

介護は、サンケアサービスにご相談ください！

ケアプラン

介護に対する相談・サービスへの支援・ケアプラン作成など
介護支援専門員(ケアマネジャー)がお手伝いいたします。

「介護」に悩んでいませんか？

一人で悩まずお気軽に
ご相談ください。



- もっと元気になるために定期的にリハビリをしたい!!
- 自宅でお風呂に入りたいのでヘルパーさんに手伝ってほしい!!
- ベッド・車いすなどの福祉用品をレンタルしたい!!

相談は無料です

居宅介護支援事業所 サンケアプランセンター

フリーコール 0120-975-539

ヘルパーサービス

「まごころを大切に」人にやさしいサービスをお届けします。

訪問介護はサンケアサービスに
お任せください
(介護保険外サービスも承ります)

生活支援



身体介護



訪問介護事業所 サンケアサービス

フリーコール 0120-294-392

グループホーム・デイサービス・ショートステイ

グループホーム



- 拘束のない家庭的な暮らしをしながら、自分の持てる力を発揮できるようにスタッフが援助いたします。

デイサービス

- おいしい食事・お風呂・笑顔の絶えないレクリエーションなど皆で楽しく過ごしております。

ショートステイ

- 一時的な旅行やご家庭の事情で、介護にお困りの場合にはご相談ください。



小規模多機能型高齢者施設 サンすまいるしかま

0229-66-1250

平成22年9月1日新施設オープン！！

黒川郡大衡村に
新施設「サンすまいるおおひら」が
開設いたしました。

グループホーム・デイサービス・ショートステイ サンすまいるおおひら

グループホーム 022-739-7543

デイ・ショート 022-739-7541

燦ケアサービス株式会社

〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目7-30 ザ・キャッスル北仙台1階
TEL022-342-1501 FAX022-272-0821 <http://www.suncare-s.jp>

外用非ステロイド性消炎鎮痛剤

インドメタシン含有製剤 ラインアップ

打撲や肩こりなどが起こると、体内にプロスタグランジン類という「炎症反応増強物質」が発生し、痛みを何倍にも増幅します。インドメタシンの仕事は、プロスタグランジンなどの「炎症反応増強物質」の発生を抑え痛みを緩和します。

ティパップID(0.5%) (冷感シップタイプ)



有効成分
インドメタシン
(0.5%)配合
痛みのもとに
直接浸透

ティパップID0.1ホット (温感シップタイプ)



インドメタシン
(0.5%)

+ トウガラシ
エキス
(0.1%)

ティジェルID1%



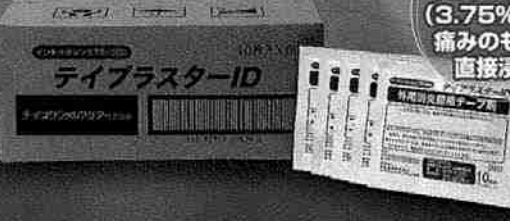
有効成分
インドメタシン
(1%)配合
痛みのもとに
直接浸透

ティクリームID1%



有効成分
インドメタシン
(1%)配合
痛みのもとに
直接浸透

ティプラスターID (プラスタータイプ)



有効成分
インドメタシン
(3.75%)配合
痛みのもとに
直接浸透

インドメタシン含有製剤は「第2類医薬品」に分類されます。

インドメタシンの使い分け

- 急性期の炎症が強い患者さん向け
 - ①ティパップID(水分の含有が多く、冷却効果が強い)
 - ②ティジェルID1%(エタノール含有で、清涼感が強い)
- 慢性化した炎症の患者さん向け
 - ①ティパップID0.1ホット
(トウガラシエキス含有で血行を良くする)
 - ②ティクリームID1%(伸びの良い基材使用)

〈お問い合わせ先〉

株式会社 パールシャープ仙台

〒983-0838

仙台市宮城野区二の森12番52号

電話番号 022-291-2366

PHARMACARE®

特許製薬グループ

テイコクファルマケア株式会社

香川県東かがわ市三本松567番地

www.teikoku-pc.co.jp

治療室（リハビリ）が変わります・・・ 実感できる高周波治療器の治療効果！！

治療後に患者さんの笑顔と感謝の言葉があります！

＜深部に浸透する消炎鎮痛効果＞

深部まで到達する高周波（3万Hz～1万Hz）を利用して
おります。痛みを早期に解消：腰痛、膝痛、むち打ち
症、ぎっくり腰、坐骨神経痛

＜心地よいリラクゼーションで＞

筋の緊張緩和：肩こり、高血圧、四十肩・五十肩
眼精疲労、不眠症、頸肩腕症候群

＜スポーツ後遺症の治療に＞

捻挫、打撲、肉離れ、筋・靭帯損傷、筋肉疲労

＜メタボリック治療に＞

楽な運動（EMS刺激）で脂肪の燃焼を支援！
末梢循環改善で美容（皮膚）と痩身を支援！

デモ受付中

安心・安全なインストラクション（指導）付き
デモンストレーションを実施中です。

干渉電流型治療器 ハイパーモールサミットエクサ



カラー液晶タッチパネル採用
「高周波干渉型治療装置」誕生！



マクターエンジニアリング株式会社

TEL 0276-40-2480 FAX 0276-40-2481

URL <http://www.mdec.co.jp>

E-mail info@mdec.co.jp

貴院の担当営業所 **マクターエンジニアリング仙台営業所**

〒981-0136宮城県宮城郡利府町皆の丘10-1

TEL 022-767-6680 FAX 022-767-6681



高い治療満足度と超音波やレーザーに匹敵する治療効果を兼備！

酸素で治療が変わる！ 手技の効果を最大限に！

なぜ治療に酸素？

筋肉や靭帯の損傷・骨折などは 炎症期・修復期・再生期を経て自然に治癒していきます。

我々は 酸素が大量に必要な炎症期・修復期に十分な酸素を患部に送り込むことで怪我の治りが早くなると考えます。

酸素濃縮器
AJ-300



価格：399,000円（税込）

血中酸素量の増加によってもたらされる効果

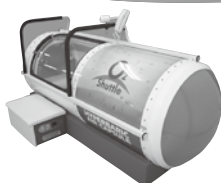
怪我や炎症の修復期間短縮

疲労物質の乳酸を分解

「損傷した細胞組織の酸素不足」を解消!!
多量の酸素供給による細胞の活性化が手技の効果を高める!!

さらに手技の効果を高める「高気圧酸素機器」

高気圧 + 濃縮酸素
(最大1.3気圧) (最大酸素濃度50%)



● O2 shuttle 1人用
(Air Technologies)



● 高気圧キャビン 多人数用
2100-1.3ATA (SHENPIX)

ヘンリーの法則^(※1) を応用した高気圧酸素機器は体内に溶解型酸素^(※2)を増やし、怪我の修復期間を短縮します。

※1 ヘンリーの法則……一定温度で一定量の液体に溶ける気体の質量は、圧力に比例するという法則。

※2 溶解型酸素……ヘモグロビンと結合していない酸素。血液や体液に直接溶け込むため毛細血管を通りやすい。

酸素濃縮器から高気圧酸素機器まで
株式会社 エフ・アイ・エル

仙台OFFICE

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-24-4
(TEL)022-265-5706 (FAX)022-265-5707

東京OFFICE

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-7-26-708
(TEL)03-5338-6686 (FAX)03-5338-6687

高度管理医療機器等販売業
許可番号 第M 10963号

<http://www.fil.co.jp>

より良い医療環境を支援する

ダイヤ工業の直販システム

1 専門性に優れた3,300種以上の豊富な商品！

ダイヤ工業オススメ商品

腰 プロハード



膝 ウォークアップニー



足首 アンクルガーメント



首 ソフト頸椎カラー



肘 ハイパフォーマンス
プレミアムエルボー



肩 E-potision:KATA



大腿 GT サイクロス



手首 ハイパフォーマンス
リスト



他にも多種・多彩な商品を取り扱っています。詳しくはダイヤメディカルカタログをご覧ください。

2 ご注文は24時間・365日いつでも受付OK！

電話・FAX・インターネット・メールからいつでもご注文いただけます。

月曜～金曜
9:00～18:00は
コミュニケーターが
直接承ります。



3 翌日発送OKのスピーディーな配送！

10,500円(税込)以上ご購入で全国どこでも送料無料でお届けします。(※一部例外がございます)

4 大変お得なポイント制を導入！

500ポイント単位で割引金額としてご利用できます。(500ポイントで500円割引利用が可能となります)

ダイヤ工業オリジナル商品 ▶ 100円ごとに2ポイント

5 お支払い方法は多数ご用意！

代金引換



コンビニ
&
郵便振込



銀行口座振込



クレジット



さらに インターネットからのご注文なら
全商品2%割引!!

インターネットからのご注文はあらかじめご登録
(無料)が必要となります

ご登録がまだの方はコチラ



<http://www.daiyak.co.jp>

2010年度版ダイヤ メディカルカタログ

お手元にない方は
下記までご請求く
ださい。無料で発
送させていただきます



先生用：A4 / カラー / 全210頁
患者用：A4 / カラー / 全138頁

ご注文
お問い
合わせは
こちら

ダイヤ工業株式会社

〒701-0203 岡山市南区古新田1117-1
<http://www.daiyak.co.jp> E-mail: info@daiyak.co.jp



0120-01-1245

フリーダイヤル

■お電話でのお申し込みは24時間受付 / 月～金曜
9:00～18:00はオペレーターが承ります



0120-02-1246

フリーファックス

■FAXでのお申し込みは24時間受付(年中無休)
※お電話のおかけ間違いには充分にご注意ください

新型腰痛治療専用マシン

LSWINGTRAC

腰部牽引スイング

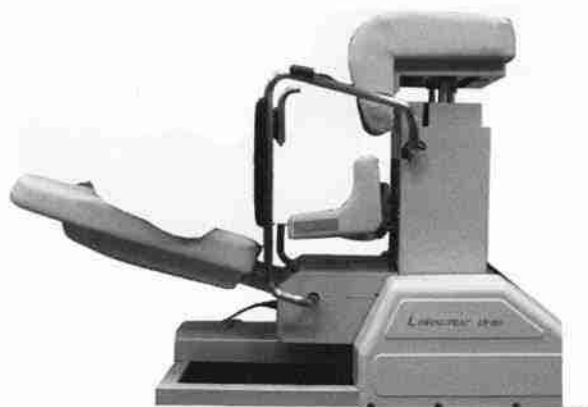
LY905 動作パターン

- ・静止モード 90° ~ 90°
- ・スイングモード
- ・アップダウンモード
- ・ジャイロモード

90° / 90° 牽引は

腰椎前弯の消失、椎間孔の拡張、椎間板の内圧を減少。

椎間側屈や、骨盤側方傾斜、脊柱起立筋の緊張緩和、大腰筋緊張緩和、骨盤のゆがみの補正等の改善



90° / 90° 姿勢で十分な腰椎前弯を矯正でき、さらに臀部を上げることによって腰椎後背部の牽引をすることができます。



スイングすることによって脊柱起立筋など脊柱、腸骨周辺部の筋群の緊張を解き、脊柱両側の筋群のバランスを取ることができます。

朝日電子東北販売株式会社

宮城県仙台市土樋98番地

TEL 022-227-7632 FAX 022-267-6225

宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定

2008年(平成20年)11月8日制定

1. 投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が1名以上の共著者となっていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の6つのポイント(約束事、常識)をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にしてください。

1997年(平成9年)、第6回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によってのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思えます。

2. ケースレポートの仕方

① ケースレポートをする意義は；

- i) 非常にめずらしい(レアrare)疾患の場合
- ii) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどったケース
- iii) 治療・施術への反応が独特であったケース
- iv) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行ってみた場合の効果
- v) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース

② どの誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可(個人情報保護)です。

症例1、症例2などとします。

③ この場合も、症例のデータ(写真など)について、自分(達)のものでない場合には、借用先を明記して下さい。

3. データのまとめ方

① X線、MRI、その他全てのデータについて、自分(達)が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。(著作権の問題)

② データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。

③ 各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさないように(個人情報保護)して下さい。表記は、例えば症例1、症例YZなど。

4. 発表要旨(抄録)の書き方

① 5W1H (whenいつ、whereどこで、who誰が、what何を、whyどんな目的で、howどのように)が分かるように書いて下さい。

② <目的><方法><結果><考察><結論>の順に、要領よく短くまとめます。<結果>には、得られた事実のみを書きます。

③ 文章は全て「～であった」「～となった」の、である調、過去形となります。

- ④ 発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。
- ⑤ 原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

5. 執筆要綱

投稿論文の種類と内容説明

- 原著論文 : 新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるものです。
明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。
- 研究報告 : 独創性を問うものではないが、特に柔道整復分野において有用、かつ意義があるものです。
- 症例報告 : 症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたものです。
- 研究資料 : 柔道整復、あるいはそれに関連した資料を主とした情報を提示したものです。
- 短 報 : 内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。
- 治療技術 : 客観的情報を示し、オリジナル性の高いものです。
- そ の 他 : 柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

6. 論文の構成

- 表 題 : 内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とします。
用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。
- 著 者 名 : 著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。
研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。
- 要 旨 : 目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。
- キーワード : 主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。
- 本 文 : 1) はじめに(序文、まえがき、緒言)
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。
これまでの研究との関連性を記載します。
- 2) 対象および方法
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。
特に、方法は関連研究者が追試できる内容とします。
- 3) 結果
実験結果、データ紹介、明らかとなった関連性、観察結果、効果などを記載します。
- 4) 考察
結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。
- 5) 結論(まとめ、結語)
本研究の結果内容を簡潔に記載します。
- 図・写真・表 : 本文に示した順に掲載し、その図表の番号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。
- そ の 他 : 原稿には一連のページ数を記載して下さい。

7. 発表の仕方

- ① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。
- ② 発表時間の厳守
例) 8分間→400字詰原稿用紙8～9枚
10分間→400字詰原稿用紙10～11枚です。
- ③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。
- ④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

8. 提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）1部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

9. 校正

校正は著者が責任を持って行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号
社団法人宮城県柔道整復師会 内
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181
E-mail：mjs@mjs.or.jp

編／集／後／記

今年三月十一日、十四時四十六分未曾有の出来事、マグニチュード9の東日本大震災が発生してから五ヶ月になろうとしています。

これにより東日本は津波で甚大な被害を受け、特に太平洋側の三陸方面を中心に宮城県沿岸部は壊滅状態です。

津波の犠牲者には会員や会員の家族もいて、また命は助かったものの治療室や自宅が流され、避難生活を余儀なくされた会員もいました。

復興する為には何時までも落ち込んだり悲しんだりしてられないと分かっている、一人の力、気力ではその一歩がなかなか前に出せるものではない、かなりの勇氣、決断力、行動力、きっかけ、なんといつてもお金が一番必要だと思えます。

そんな中このような青年がいました。彼は宮城県延岡市出身、二十四歳、名取市で柔道整復師として六年間の勤務を終え、地元九州宮崎県に

帰ろうとしていました。

そしてあの地震に遭い甚大な被害を目の当たりにし、お世話になった東北に何か恩返しと、被災に負けるなどの気持ちを含めて義援金を募りながら自転車での帰路を決めました。

四月一日午前五時、寝袋と水筒、地図を持って自転車で名取市を出発。ゴールは宮城県宮崎市で一日六十キロ、多いときは百四十キロ走り、二十一日間約千七百キロの道のりで、約百人から協力してもらい、約四十一万円を宮崎県庁へ届けました。

雨の日も風の日もペダルを漕いだ彼の挑戦は、くじけそうな被災者に勇氣を与え、こんな時だからこそ人は人の為になにか行動をし、そして人と人との断つことのできない繋がりを大切に思い、「チャリの旅」も「絆」も前に進むためのものと示してくれたように思えます。

インターネットの動画サイトで「僕の旅はチャリの旅」を検索してみてください。

宮整広報 編集部

社団法人 宮城県柔道整復師会

宮 整 広 報 No.89

平成23年7月31日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 豊嶋良一
編集 広報部担当理事 芦澤卓也
広報部員 主任 佐藤敬一 委員 千葉勝弘 平山 修
広報Working Group
主任 庄子和良 委員 柴田道文

印刷所 (資) 芳賀美術印刷
〒980-0003
宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号
TEL 022(222)4225(代)
FAX 022(222)4228